



WBT型教材の 作成（基本操作）

ここでは、WBT型教材の作成のしかたについて説明します。

もくじ

WBT型教材作成画面の見かた	57
スタイルについて	57
ツールバーの見かた	58
各ボタンの名前と働き	60
各領域の名前と働き	62
メニューを選択する	65
WBT型教材を新規作成する	66
素材を選択・配置する	67
音声素材を選択・配置する	70
フォントを設定する	72
背景色を設定する	73
各領域を追加・削除する	75
表示する順番を設定する	77
教材のタイトルを設定する	78
作成したWBT型教材をプレビューする	79
評価問題付き教材をプレビューする	80
作成したWBT型教材を保存 / 登録する	81
WBT型教材を保存 / 登録する	81
フォルダーを作成する	83
WBT型教材 / フォルダーを削除する	84
メニューに戻る	85

WBT型教材作成画面の見かた

スタイル・ツールバー・各ボタン・各領域の見かたを説明します。

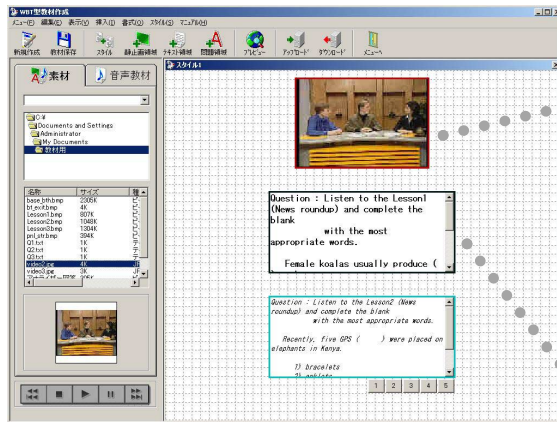
スタイルについて

WBT型教材は、複数のスタイルから構成されます。

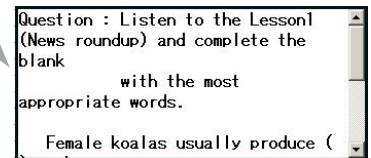
スタイルとは“ページ”に相当するもので、最大5枚まで追加できます。

また、スタイル上には、静止画領域、テキスト領域、問題領域、評価領域を配置することができ、それらを組み合わせることにより、様々な教材を作成することができます。

図 WBT型教材におけるスタイルの構成
スタイル1

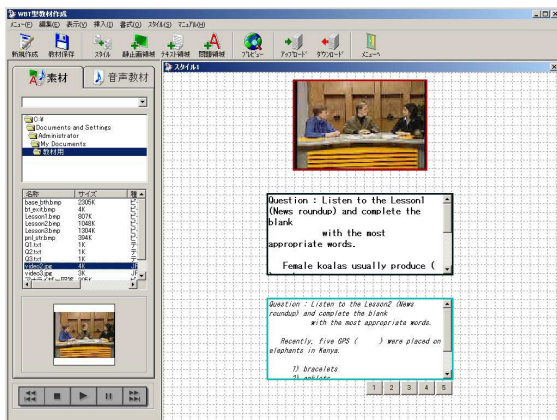


ハイパーリンク先に、詳細画像や他の参考画像を選択して、より詳しい説明を提示することができます。



- 複数のスタイルがある場合は、表示する順番を設定することができます。
- 静止画領域・テキスト領域からは、それぞれ他のスタイルへハイパーリンクを設定することができます。

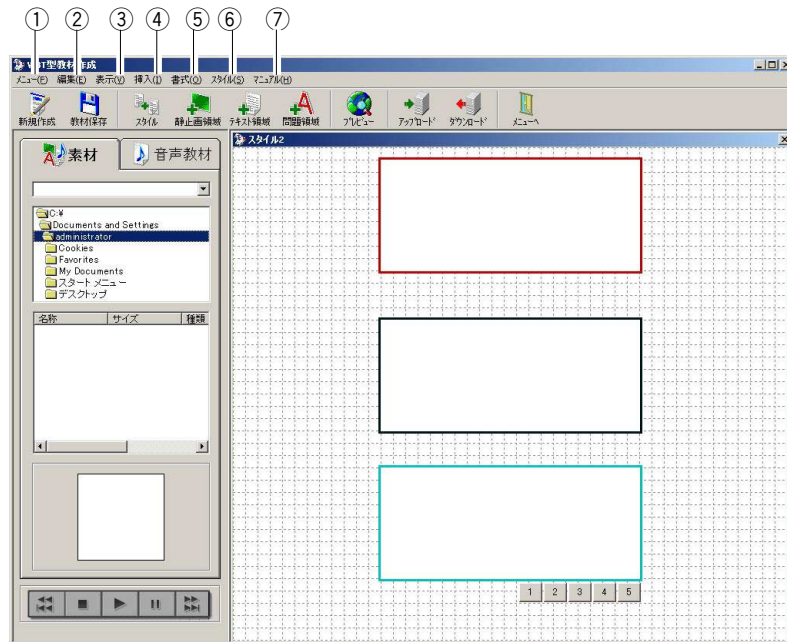
スタイル2



ハイパーリンク先に、音声教材を選択することもできます。

ツールバーの見かた

図 WBT型教材作成画面



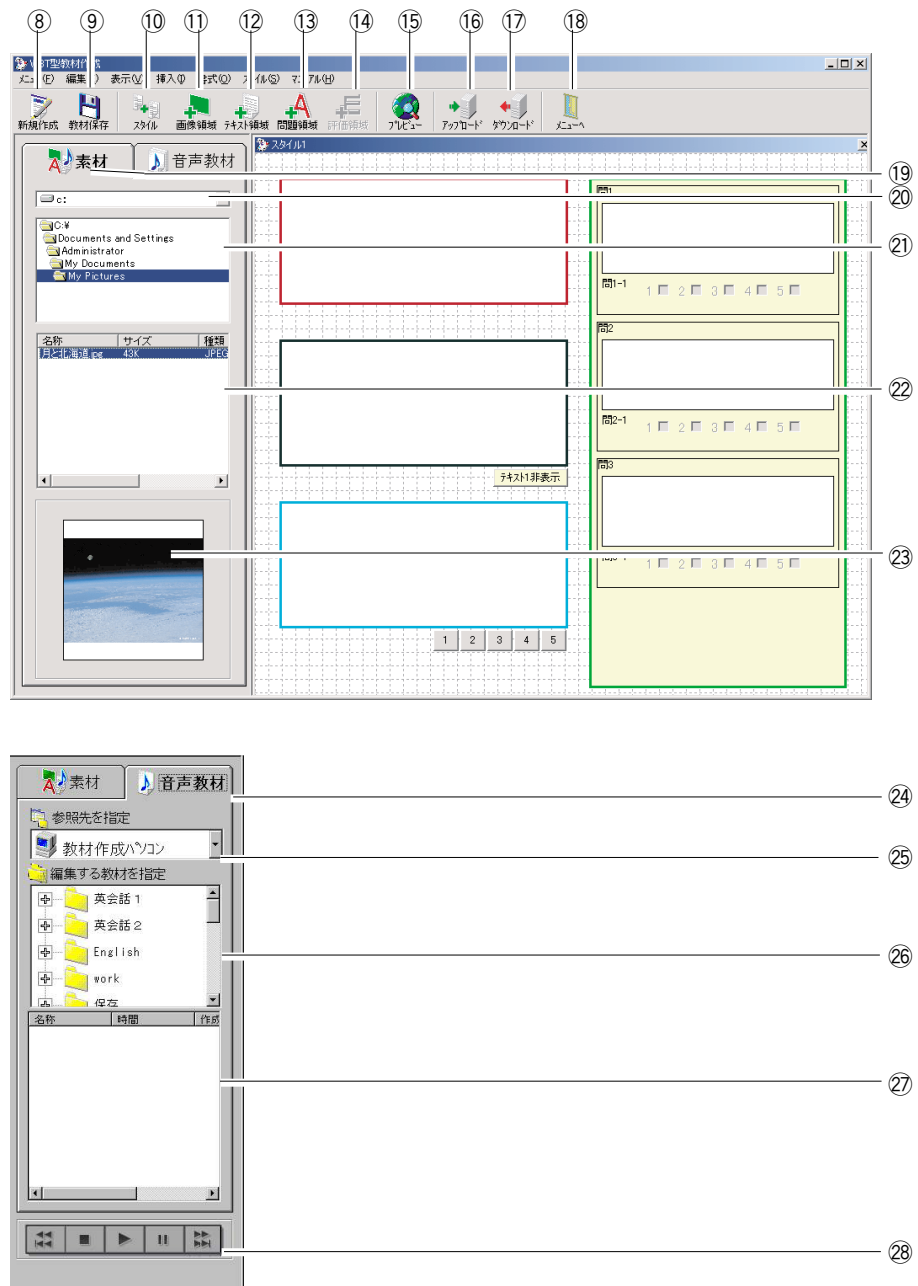
① [メニュー (F)]

- ・新しく教材を作成 (N) : 新規にWBT型教材を作成します。作業中のWBT型教材がある場合は、保存または廃棄後にWBT型教材を作成します。ショートカットキー [Ctrl + N] でも可能です。
- ・既にある教材を開く (O) : 教材作成パソコンまたはサーバーに登録されているWBT型教材を呼び出します。ショートカットキー [Ctrl + O] でも可能です。
- ・既にある教材を削除する (R) : 既に登録されているWBT型教材、フォルダーを削除します。
- ・スタイルを追加する (G) : 新規のスタイルを追加 (最大5枚) します。
- ・スタイルを削除する (D) : 現在表示しているスタイルを削除します。
- ・教材のタイトル設定 (M) : 作成しているWBT型教材にタイトルを設定します。
- ・教材を上書き保存 (S) : 既に保存されているWBT型教材を上書き保存します。ショートカットキー [Ctrl + S] でも可能です。
- ・教材に名前を付けて保存 / 登録 (A) : WBT型教材に名前を設定して保存します。
- ・アップロード (U) : 教材作成パソコンからサーバーへWBT型教材をアップロードします。
- ・ダウンロード (W) : サーバーから教材作成パソコンへWBT型教材をダウンロードします。

- ・フォルダーの作成編集（C） : フォルダーの新規作成および名称変更を行います。
 - ・メニューへ（X） : WBT型教材作成を終了し、メニュー選択画面に戻ります。
- ② [編集（E）]
- ・切り取り（T） : 文字列の切り取りを行います。
ショートカットキー [Ctrl + X] でも可能です。
 - ・コピー（C） : 文字列のコピーを行います。
ショートカットキー [Ctrl + C] でも可能です。
 - ・貼り付け（P） : 文字列の貼り付けを行います。
ショートカットキー [Ctrl + V] でも可能です。
- ③ [表示（V）]
- ・プレビュー（P） : 作成中の教材をプレビューします。
 - ・評価設定内容（E） : 評価設定内容画面が表示されます。
- ④ [挿入（I）]
- ・画像領域（J） : 現在表示しているスタイルに画像領域を追加します。
 - ・テキスト領域（T） : 現在表示しているスタイルにテキスト領域を追加します。
 - ・問題領域（Q） : 現在表示しているスタイルに問題領域を追加します。
 - ・評価領域（E） : 現在表示しているスタイルに評価領域を追加します。
- ⑤ [書式（O）]
- ・フォント（F） : 現在選択しているテキスト領域、問題領域、評価領域内のテキスト欄にフォント設定を行います。
 - ・背景色（K） : 現在選択しているスタイル、テキスト領域、問題領域、評価領域内のテキスト欄、問題グループの背景色の設定を行います。
- ⑥ [スタイル（S）]
- : 現在開かれているスタイルの一覧が表示されます。スタイルを切り替えて表示する場合は、一覧から選択してください。
- ⑦ [マニュアル（H）]
- ・マニュアル（C） : マニュアルを表示します。
 - ・バージョン情報（A） : バージョン情報を表示します。

各ボタンの名前と働き

図 WBT型教材作成画面



- ⑧ [新規作成] : 新規にWBT型教材を作成します。作業中のWBT型教材がある場合は、保存または廃棄後に作成します。
- ⑨ [教材保存] : WBT型教材の保存を行います。教材作成パソコン内の教材を開いている場合は、上書き保存されます。
- ⑩ [スタイル] : スタイルの追加（最大5枚）を行います。
- ⑪ [画像領域] : 静止画領域の追加（1つのスタイル内で最大2つ）を行います。
- ⑫ [テキスト領域] : テキスト領域の追加（1つのスタイル内で最大2つ）を行います。
- ⑬ [問題領域] : 問題領域の追加（1つのスタイル内で最大5つ）を行います。

- ⑭ [評価領域] : 評価領域の追加（1つのスタイル内に1つ）を行います。
- ⑮ [プレビュー] : 作成中のWBT型教材をプレビューします。
- ⑯ [アップロード] : 教材作成パソコンからサーバーへWBT型教材をアップロードします。
- ⑰ [ダウンロード] : サーバーから教材作成パソコンへWBT型教材をダウンロードします。
- ⑱ [メニューへ] : WBT型教材作成を終了し、メニュー選択画面に戻ります。

素材タブ

- ⑲ [素材] : テキスト（TXT）、静止画ファイル（BMP、JPG、JPEG）、動画ファイル（MPG、MPEG）を参照します。
- ⑳ [ドライブ指定リスト] : テキスト、静止画ファイル、動画ファイルを保存しているドライブを指定します。
- ㉑ [フォルダ指定リスト] : テキスト、静止画ファイル、動画ファイルを保存しているフォルダを指定します。
- ㉒ [ファイル指定リスト] : 指定したフォルダからテキスト、静止画ファイル、動画ファイルを指定します。
- ㉓ [プレビュー表示] : ファイル指定リストで選択された画像、テキストファイルのアイコン表示を行います。動画ファイルの場合は、プレビュー再生することができます。

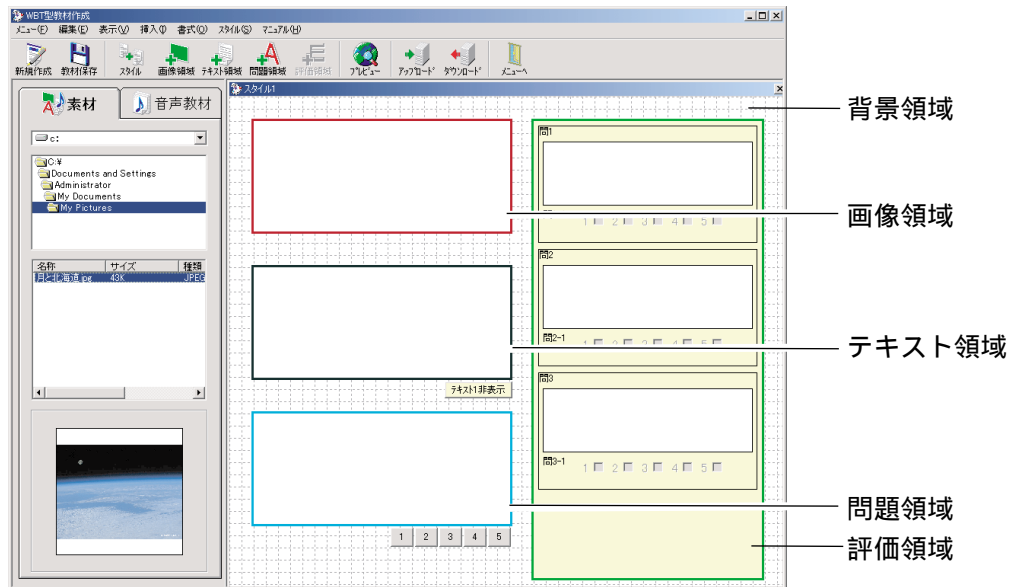
音声教材タブ

- ㉔ [音声教材] : 音声教材を表示します。アナライザー教材は表示されません。
- ㉕ [参照先指定リスト] : 音声教材の参照先を指定します。メディアの参照はできません。
- ㉖ [フォルダ指定リスト] : 音声教材を指定します。
- ㉗ [音声教材指定リスト] : 音声教材のレッスン、センテンス、ポーズを指定します。
- ㉘ [再生操作ボタン] : 音声教材の再生操作（巻き戻し / 停止 / 再生 / 一時停止 / 早送り）を行います。

各領域の名前と働き

スタイル上で、背景領域、画像領域、テキスト領域、問題領域、評価領域の各領域内で右クリックすると、メニューが表示されます。

図 WBT型教材作成画面



・背景領域

[背景色 (K)] : スタイルの背景色を設定します。

[スタイル削除 (B)] : スタイルを削除します。

[スタイル追加 (A)] : スタイルを追加します。

[スタイル並べ替え (T)] : 学習者に表示するスタイルの順番を設定します。

[音声教材削除 (E)] : スタイルへドラッグ&ドロップした音声教材を削除します。

[再生モード設定 (P)] : スタイルへドラッグ&ドロップした音声教材があるスタイル表示時の音声教材自動再生 / 手動再生を設定します。



・画像領域

[表示サイズ (S)] : 「実際のサイズで表示」または「表示領域に合わせて表示」のいずれかを設定します。

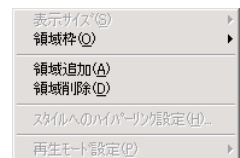
[領域枠 (O)] : 選択している画像領域に枠を表示する / しないを設定します。

[領域追加 (A)] : 画像領域を追加します。

[領域削除 (D)] : 画像領域を削除します。

[スタイルへのハイパーリンク設定 (H)] : 画像領域に現在開いている他のスタイルへのハイパーリンク設定を行います。動画ファイルを貼り付けた場合は設定できません。

[再生モード設定 (P)] : 画像領域に動画ファイルがあるスタイル表示時の動画ファイル自動再生 / 手動再生を設定します。



・テキスト領域

[フォント (F)] : フォントを設定します。

[背景色 (K)] : 背景色を設定します。

[領域枠 (O)] : 選択しているテキスト領域に枠を表示する / しないを設定します。

[テキスト表示切り替え (T)] : テキスト領域内のテキストを表示 / 非表示状態に切り替えるボタンあり / なしを設定します。

[領域追加 (A)] : テキスト領域を追加します。

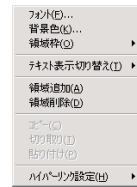
[領域削除 (D)] : テキスト領域を削除します。

[コピー (C)] : テキスト領域内の文字列をコピーします。

[切り取り (T)] : テキスト領域内の文字列を切り取ります。

[貼り付け (P)] : コピーまたは切り取りが行われた文字列を貼り付けます。

[ハイパーリンク設定 (H)] : 音声教材へのハイパーリンク設定、スタイルへのハイパーリンク設定、動画ファイルへのハイパーリンク設定を行います。



・問題設定領域

[フォント (F)] : フォントを設定します。

[背景色 (K)] : 背景色を設定します。

[領域枠 (O)] : 選択している問題領域に枠を表示する / しないを設定します。

[領域追加 (A)] : 問題領域を追加します。

[領域削除 (D)] : 問題領域を削除します。

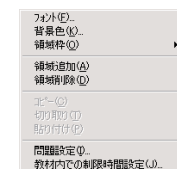
[コピー (C)] : 問題領域内の文字列をコピーします。

[切り取り (T)] : 問題領域内の文字列を切り取ります。

[貼り付け (P)] : コピーまたは切り取りが行われた文字列を貼り付けます。

[問題設定 (I)] : 問題のボタン数、正答番号、正解 / 不正解時に表示するメッセージを設定します。

[教材内での問題制限時間設定 (J)] : WBT型教材内の問題回答制限時間を設定します。



・評価領域（E）

[背景色（K）]：評価領域内の背景色を設定します。

[領域枠（O）]：評価領域に枠を表示する／しないを設定します。

[領域削除（D）]：評価領域を削除します。

[解説内容編集（G）]：解説欄の内容を編集します。

[評価設定（E）]：評価領域に関する設定を行います。

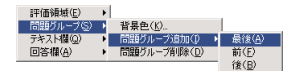


・問題グループ（S）

[背景色（K）]：問題グループの背景色を設定します。

[問題グループ追加（I）]：問題グループを最後（A）／前（F）／後（B）に追加します。

[問題グループ削除（D）]：問題グループを削除します。



・テキスト欄（Q）

[フォント（F）]：テキスト欄のフォントを設定します。

[背景色（K）]：テキスト欄の背景色を設定します。

[コピー（C）]：テキスト欄の文字列をコピーします。

[切り取り（T）]：テキスト欄の文字列を切り取ります。

[貼り付け（P）]：コピーまたは切り取りが行われた文字列を貼り付けます。

[行数設定（L）]：テキスト欄の表示行数を設定します。設定は行数MSゴシック9ポイントを基準とした高さです。



・回答欄（A）

[回答欄追加（I）]：回答欄を最後（A）／前（F）／後（B）に追加します。

[回答欄削除（D）]：回答欄を削除します。

[行数設定（L）]：記述式問題の際の回答欄の高さを設定します。設定は行数MSゴシック9ポイントを基準とした高さです。

[回答設定（M）]：回答欄の問題の形式に応じた設定を行います。



メニューを選択する

1. メニュー選択画面で、[WBT型教材作成] ボタンを押します。
WBT型教材作成画面が表示されます。

図 メニュー選択画面

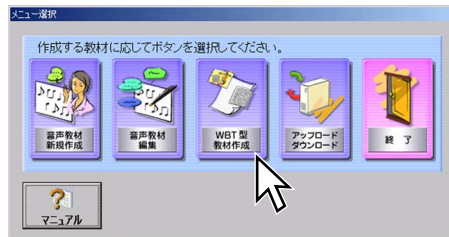
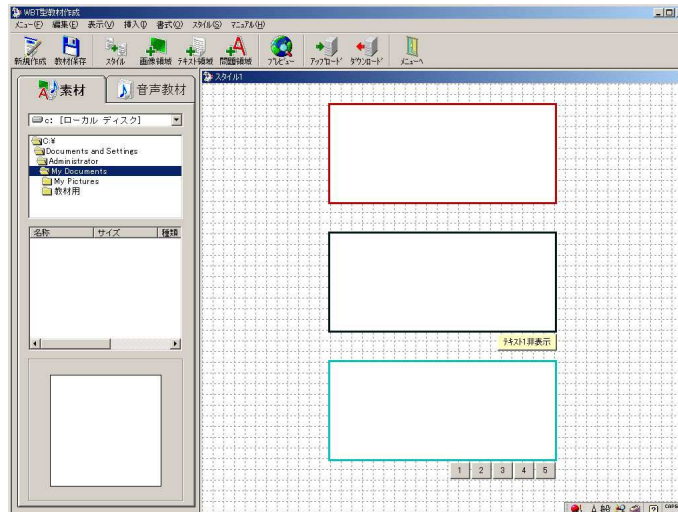


図 WBT型教材作成画面



WBT型教材を新規作成する

WBT型教材を作成します。

1. WBT型教材作成画面で、[新規作成] ボタンをクリック、またはメニューの [メニュー (F)] を選択し、[新しく教材を作成 (N)] を選択します。

教材新規作成画面が表示されます。

すでに教材を作成中の場合は、「教材を保存しますか？」が表示されます。保存する場合は [はい] ボタン、廃棄する場合は [いいえ] ボタン、編集作業を継続する場合は [キャンセル] ボタンを押してください。

図 教材新規作成画面

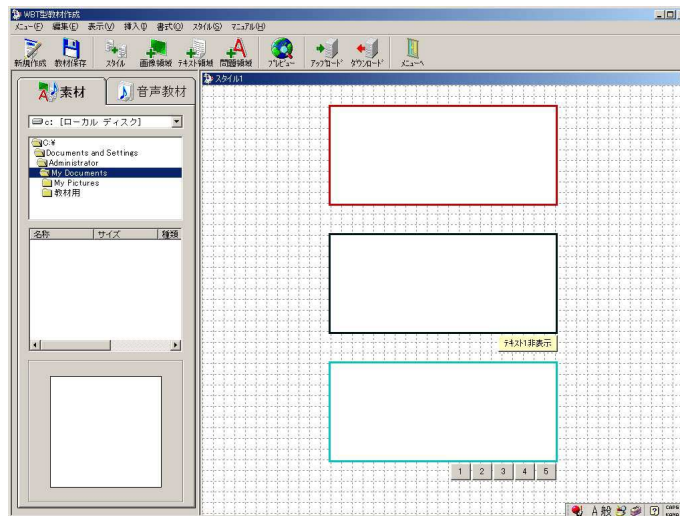


図 保存確認画面



素材を選択・配置する

すでに保存されている素材を選択し、スタイル上に配置します。

素材とは、WBT型教材で使用するBMP、JPEGファイルなどの静止画ファイル、動画ファイル、テキストファイルのことです。

素材を選択する

1. WBT型教材作成画面で、[素材] タブを選択します。
[素材] タブが前面に表示されます。
初期設定では、[素材] タブが選択されています。
2. フォルダー指定リストから任意のフォルダーを選択します。
テキスト、静止画ファイル、動画ファイルを保存しているフォルダーを指定します。
初期設定では、My Documentsフォルダーが表示されます。
3. ファイル指定リストから素材を選択します。
指定したフォルダーからテキスト、静止画ファイル、動画ファイル、を指定します。
手順2で指定したフォルダーからテキスト、静止画ファイル、動画ファイル、を選択します。
ファイル指定リストで選択した静止画ファイルは、プレビュー表示に表示されます。
動画ファイルは、プレビュー再生することができます。

表示される素材について

- 静止画の素材は、拡張子が「BMP」、「JPG」、「JPEG」のデータが表示されます。
- テキストの素材は、拡張子が「TXT」のデータが表示されます。
- 動画の素材は、拡張子が「MPG」、「MPEG」、「MP1」、「MPE」のデータが表示されます。

図 WBT型教材作成画面

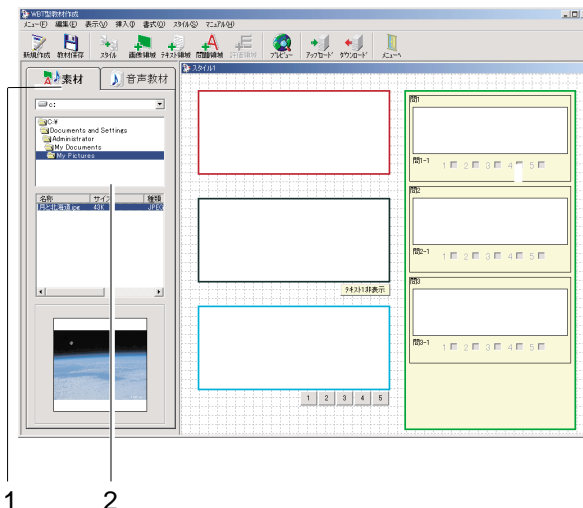


図 詳細表示
(静止画)の場合

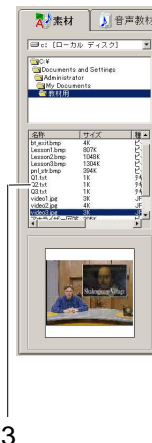


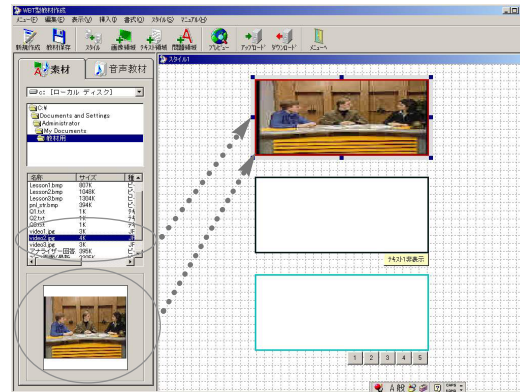
図 詳細表示
(動画)の場合



素材を配置する

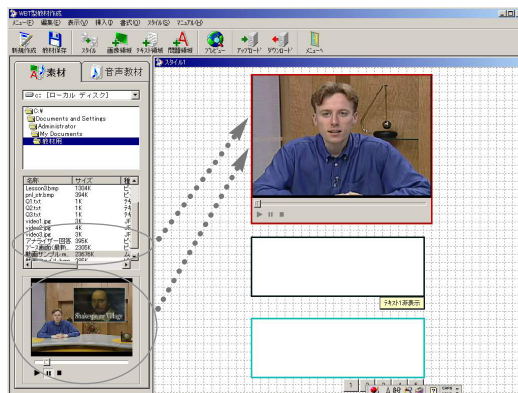
1. 素材ファイルリスト指定欄から画像ファイルまたはテキストファイルを選択し、貼り付けたい領域へドラッグ&ドロップします。

図 静止画ファイルを選択して画像領域へドラッグ&ドロップ



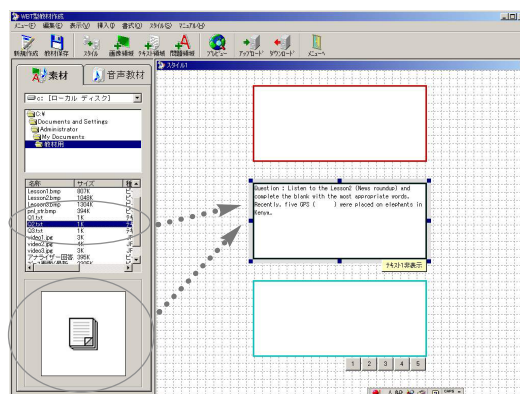
静止画ファイルを選択した場合は、画像領域へドラッグ&ドロップします。

図 動画ファイルを選択して画像領域へドラッグ&ドロップ



動画ファイルを選択した場合は、画像領域へドラッグ&ドロップします。

図 テキストを選択してテキスト領域へドラッグ&ドロップ




テキストファイルを選択した場合は、テキスト領域、問題領域へドラッグ&ドロップします。全角2001文字以上の場合、ドラッグ&ドロップすることはできません。



2. テキスト領域、問題領域を選択して直接文字入力をすることもできます。最大文字数は、全角2000文字です。


注意

改行も文字数としてカウントされますのでご注意ください。

領域サイズの変更・位置の移動

各領域の枠をクリックし、マウスカーソルを重ねると、マウスカーソルが  マークになり、位置の移動が可能になります。

各領域枠上にある  印（ハンドル）をクリックすると、マウスカーソルが  マークになり、ドラッグすることでサイズの変更が可能になります。

領域サイズの変更：枠上の  印（ハンドル）に矢印カーソルを合わせ、マウスでクリックしたまま移動させるとサイズが変化します。


領域位置の移動：枠上に  マークを合わせ、マウスでクリックしたまま移動したい位置に動かすと、位置が移動します。

図 画像領域サイズを変更

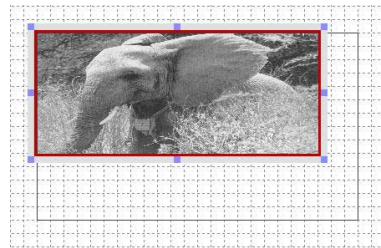
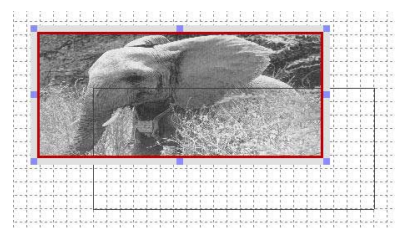
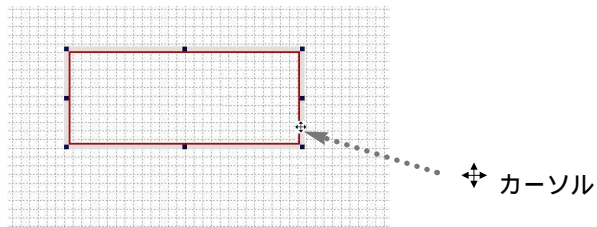


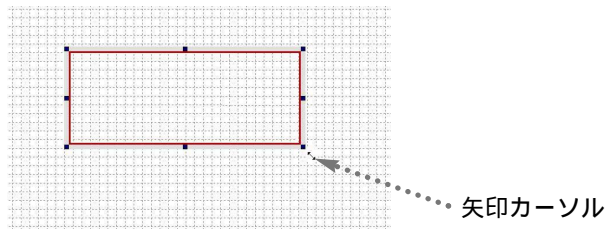
図 画像領域位置を変更



移動



サイズ変更



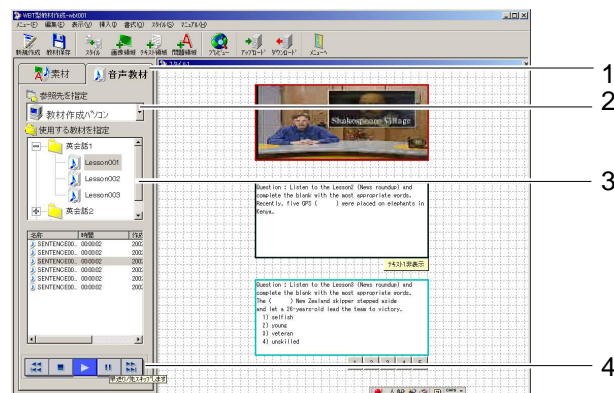
音声教材を選択・配置する

本ソフトで作成した音声教材を選択し、スタイル領域またはテキスト領域のハイパーリンク先として設定することができます。

音声教材を選択する

1. WBT型教材作成画面で、[音声教材] タブを選択します。
[音声教材] タブが前面に表示されます。
初期設定では、[素材] タブが選択されています。
2. 「参照先を指定」で教材作成パソコン、サーバーのいずれかを指定します。
3. 「使用する教材を指定」でフォルダーを指定します。
フォルダーを選択すると、フォルダー内の音声教材が表示されます。選択したい音声教材をクリックして選びます。
4. 音声教材のモニター（再生）をする場合は、音声教材の再生ボタン操作と同様に行います。

図 WBT型教材作成画面



音声教材を配置する

1. 音声教材ファイル表示欄から音声教材（レッスンまたはセンテンス）を選択し、配置したいスタイルまたはテキスト領域へドラッグ&ドロップします。
削除する場合は、「音声教材のハイパーリンク設定」の項目をお読みください。

図 WBT型教材作成画面

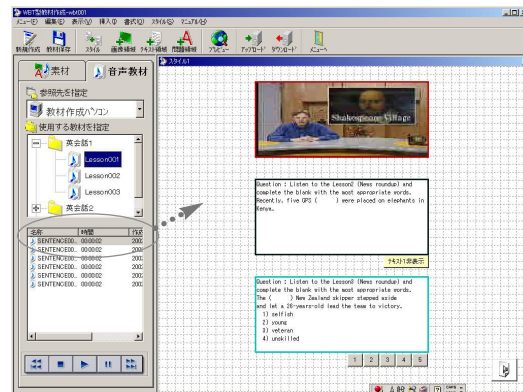
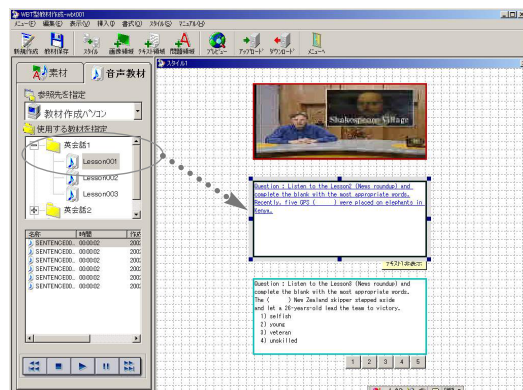


図 WBT型教材作成画面

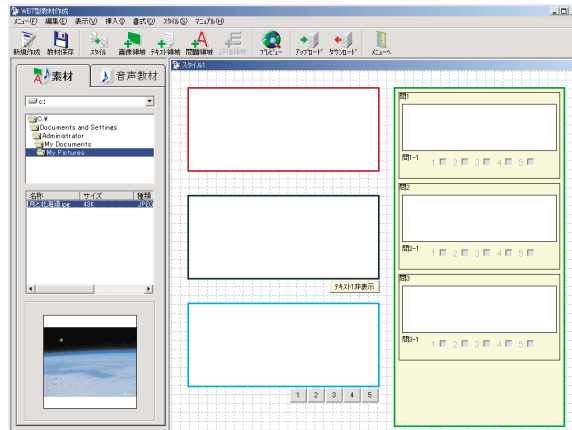


フォントを設定する

テキスト領域、問題領域、評価領域のフォント設定することができます。

1. WBT型教材作成画面で、テキスト領域または問題領域、評価領域内のテキスト欄を右クリックした際に表示されるメニューから、「フォント(F)」を選択します。

図 WBT型教材作成画面



フォント画面が表示されます。

2. フォントを指定します。

図 フォント画面



[OK]

: 選択している評価領域は、選択している文字列に対して、フォントの設定が保存されます。

[キャンセル]

: フォント設定を行わずにフォント設定画面を閉じます。

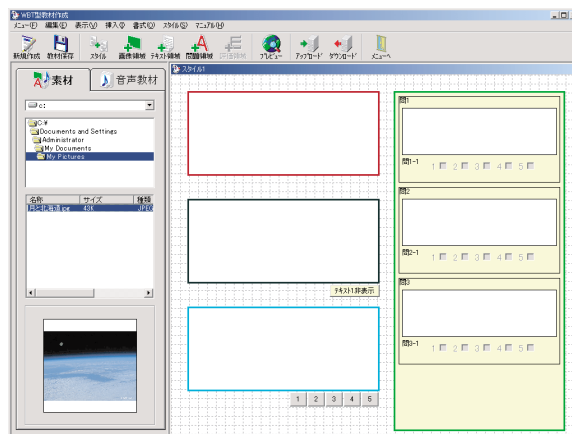
3. [OK] ボタンを押すと設定したフォントが保存され、WBT型教材作成画面に戻ります。フォントの設定は選択した文字列に対してのみ有効です。

背景色を設定する

スタイルおよびテキスト領域、問題領域、評価領域の背景色を設定することができます。

1. WBT型教材作成画面で、スタイル領域、テキスト領域、問題領域、評価領域内の問題グループ、テキスト欄を右クリックした際に表示されるメニューから、「背景色（K）」を選択します。

図 WBT型教材作成画面



色画面が表示されます。

2. 背景色を設定します。

図 背景色設定画面1



図 背景色設定画面2



[OK]

：背景色の設定が保存されます。

[キャンセル]

：設定を行わずに背景色を設定する画面を閉じます。

[基本色 (B)]

：48の基本色が表示されます。設定したい色をクリックして選択します。

[作成した色 (C)]

：背景色設定画面2で作成した色が表示されます。クリックして選択します。

[色の作成(D)]

: クリックすると、背景色設定画面2が表示されます。

- ①ベースになる色を「基本色(B)」または「作成した色(C)」からクリックして選択します。
- ②画面右上に選択した色が表示されます。
- ③②を見ながら、「色合い(E)」「鮮やかさ(S)」「明るさ(L)」、「赤(R)」「緑(G)」「青(B)」に数値を入力してお好みの色を作成します。

[色の追加(A)]

: クリックすると、作成色が[作成した色(C)]に追加されます。

3. [OK] ボタンを押すと、設定した背景色が保存され、WBT型教材作成画面に戻ります。背景色の設定は、選択した領域、問題グループ、テキスト欄に対してのみ有効です。

各領域を追加・削除する

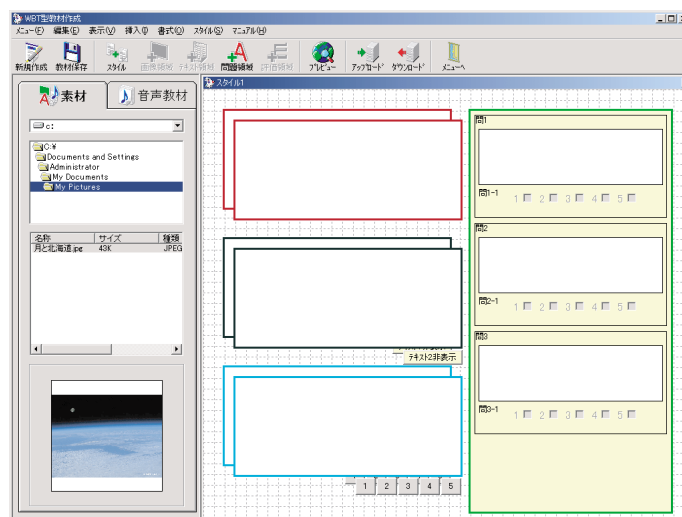
各領域は、必要に応じて追加・削除することができます。
追加できる領域の数は、次の通りです。

- スタイル : 1つの教材内で最大5つ
- 画像領域 : 1つのスタイル内で静止画は最大2つ、動画の場合が動画1つと静止画1つ
- テキスト領域 : 1つのスタイル内で最大2つ
- 問題領域 : 1つのスタイル内で最大5つ
- 評価領域 : 1つのスタイル内1つ
- 問題グループ : 1つの評価領域内で最大10個
- 回答欄 : 1つの問題グループ内で最大5つ

1. 領域の追加は、次のいずれかの方法でも行うことができます。

- WBT型教材作成画面で、メニュー [挿入 (I)] を選択し、追加する領域 (画像領域・テキスト領域・問題領域・評価領域) を選択します。 [メニュー (F)] を選択し、「スタイルを追加する (G)」を選択します。
- [画像領域] ボタン、[テキスト領域] ボタン、[問題領域] ボタン、[評価領域] ボタン、[スタイル] ボタンのいずれかを押します。
- 各領域内で右クリックした際に表示されるメニューから「領域追加 (A)」、[スタイル追加 (A)] を選択します。
スタイル上に選択した領域、新しいスタイルが追加されます。

図 WBT型教材作成画面



2. 領域の削除は、次のいずれかの方法で行うことができます。

- スタイル領域の場合

[メニュー(F)]の[スタイルを削除する(D)]を選択します。または削除したいスタイルの背景を選択して右クリックし、表示されるメニューから[スタイル削除(B)]を選択します。

- 画像領域、テキスト領域、問題領域、評価領域の場合

各領域を右クリックし、表示されるメニューから[領域削除(D)]を選択します。または領域枠を選択してキーボードのDeleteキーを押します。

＼スタイル上にある各領域の表示順について＼

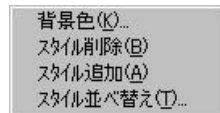
スタイル上に配置された領域には、その種類ごとに表示される順序が異なります。以下は、各領域ごとの表示順で、右に行くほど前面に表示されます。最終的な領域のレイアウトは、プレビュー機能を利用して確認してください。

背面				(表示順)				前面			
画像領域		テキスト領域		問題領域		評価領域					

表示する順番を設定する

複数のスタイルが存在する場合、学習者に表示する順番を自由に設定することができます。

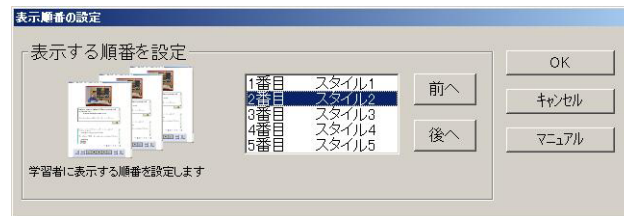
1. スタイル上の背景領域内で右クリックし、表示されるメニューから [スタイル並べ替え (T)] を選択します。



表示順番の設定画面が表示されます。

2. 表示する順番の変更は、変更したいスタイルをクリックし、[前へ] ボタン、[後へ] ボタンをクリックして変更して行います。
3. [OK] ボタンを押すと、設定した順番が保存され、WBT型教材作成画面に戻ります。

図 表示順番の設定画面



[前へ] ボタン

: 選択中のスタイルの表示順を1つ前に変更します。

[後へ] ボタン

: 選択中のスタイルの表示順を1つ後に変更します。

[OK] ボタン

: 設定を確定します。

[キャンセル] ボタン

: 編集中の内容を取り消します。

[マニュアル] ボタン

: 操作マニュアルが表示されます。

教材のタイトルを設定する

作成中の教材にタイトルをつけることができます。タイトルは、教材の概略の表示などに利用します。設定したタイトルは、WBT型教材作成画面のタイトルバーに表示され、オーサリングソフトでのみ使用可能です。

1. WBT型教材作成画面で、メニューの [メニュー (F)] から、[教材のタイトル設定 (M)] を選択します。
タイトル設定画面が表示されます。

図 WBT型教材作成画面

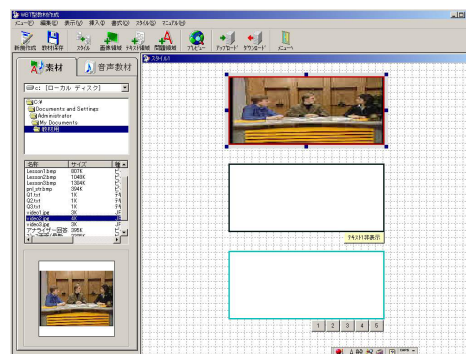
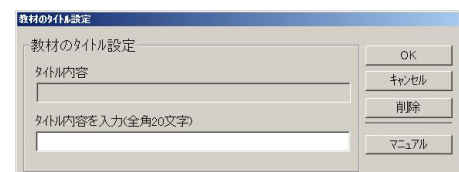


図 タイトル設定画面



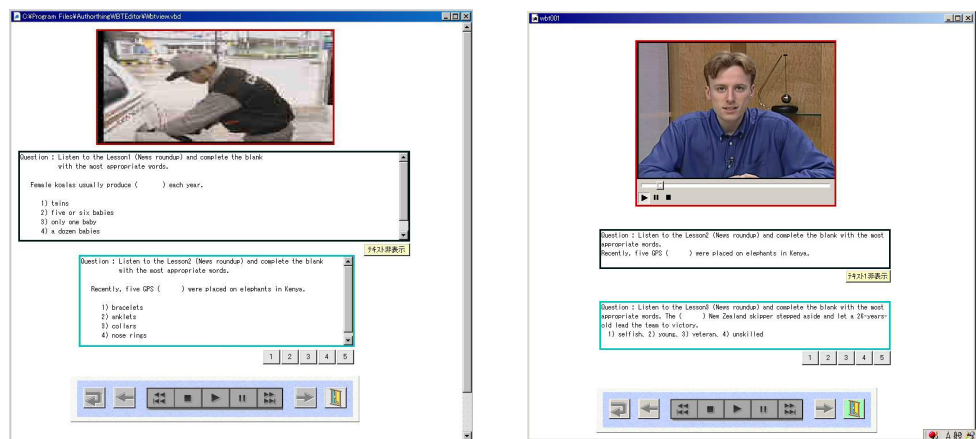
2. タイトルを入力します。
文字数 : 全角20文字（半角40文字）以内
使用不可の文字 : ¥/,:;*?"<> | &（半角）
3. [OK] ボタンを押すと、設定したタイトルが保存されWBT型教材作成画面に戻ります。
[OK]
: 入力されたタイトルが確定されます。
[キャンセル]
: 設定を取り消します。
[削除]
: すでに設定しているタイトル内容を削除します。
[マニュアル]
: マニュアルを表示します。


作成したWBT型教材をプレビューする

作成中のWBT型教材をプレビューすることができます。



1. WBT型教材作成画面で、メニューの[表示(V)]から、[プレビュー(P)]を選択します。またはプレビューボタンを押します。
WBTビューワが起動し、現在作成中のWBT型教材がプレビューされます。
2. WBTビューワ上の[×]ボタン、または[終了]ボタンを押すと、WBT型教材作成画面に戻ります。

図 プレビュー画面




[動画再生コントロール] ボタン 


: 画像領域内の動画の再生操作を行います。

[テキスト表示 / 非表示] ボタン  


: テキスト領域内の文字表示のテキスト表示 / テキスト非表示を設定します。

[回答] ボタン 


: 問題に対する回答番号を選択します。

[戻る] ボタン 


: 前回表示していたスタイルに戻ります。

[前へ] ボタン 


: 現在表示している1つ前のスタイルを表示します。

[再生操作] ボタン 

: 音声教材がハイパーリンク設定されている場合、再生操作を行います。

[次へ] ボタン 

: 現在表示している1つ次のスタイルを表示します。

[終了] ボタン 

: 現在表示中のプレビューを終了します。

評価問題付き教材をプレビューする

評価問題付き教材の場合、さらに以下の画面内容が追加されます。

図 評価問題付き教材のプレビュー画面

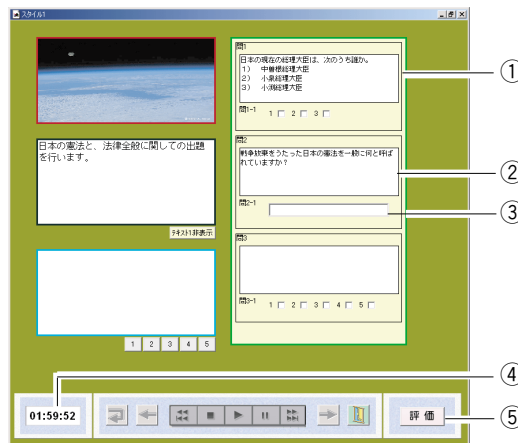


図 評価結果画面

評価結果						
氏名	ユーザー名	座席番号	ログイン日時			
教材名	開始時間	終了時間	取得点数	総配点	所要時間	平均所要時間
スタイル名	問題番号	回答	正解	得点	配点	記述欄
スタイル名	問題1	無し	無し	0	0	
Total				0	0	
解説						

評価問題付き教材のプレビュー

- ① 評価領域：学習者の回答した内容を評価・採点することができます。
- ② テキスト欄：学習者に出題する内容が表示されます。
- ③ 回答欄：学習者が回答内容を入力します。
- ④ 回答制限時間：回答時間設定がされている場合、設定時間よりカウントダウンします。制限時間終了後は、回答入力はできなくなります。
- ⑤ [評価] ボタン：回答内容の結果が表示されます。解説設定が行われている場合、解説も表示されます。

評価結果

- ⑥ 学習者情報：学習者の氏名、登録ユーザー名、座席番号、ログイン日時が表示されます。
- ⑦ 学習情報：学習者が使用した教材名、学習開始/終了時間、取得点数、総配点、所要時間、平均所要時間が表示されます。
- ⑧ 教材情報：スタイル名、問題番号、回答、正解、得点、配点、記述内容が表示されます。
- ⑨ 解説欄：先生の記入した解説が表示されます。

作成したWBT型教材を保存 / 登録する

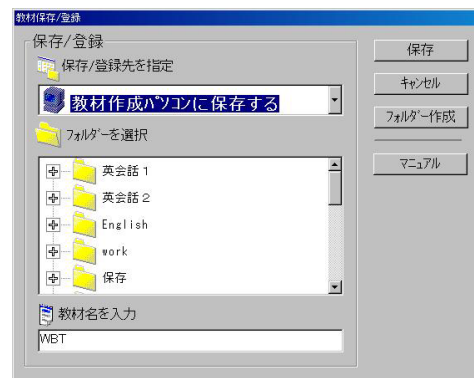
WBT型教材を保存 / 登録する

保存には次の2通りあります。

教材を上書き保存 : すでに存在している教材に上書きをして保存します。
教材に名前を付けて保存 : 新規に名前を設定して保存します。

1. WBT型教材作成画面で、メニューの [メニュー (F)] から、[教材を上書き保存 (S)] か [教材に名前を付けて保存 / 登録 (A)] を選択します。
または [教材保存] ボタンを押します。
教材を保存画面が表示されます。
2. 教材の保存 / 登録先を選択します。
保存 / 登録先 (教材作成パソコンまたはサーバー) を選択します。
3. 保存 / 登録するフォルダーを選択します。
 - 新規にフォルダーを作成する場合は、[フォルダー作成] ボタンを押します。
文字数 : 全角10文字 (半角20文字) 以内
使用不可の文字 : ¥/;,*?"<> | & (半角)
4. 上書き保存する場合は [保存] ボタンを押し、新規保存する場合は「教材名を入力」欄に新規名称を入力してから [保存] ボタンを押します。

図 教材を保存画面



[保存] ボタン

: 教材を保存 / 登録します。

[キャンセル] ボタン

: 教材の保存を取り消します。

[フォルダー作成] ボタン

: 指定した場所に、新規にフォルダーを作成します。

[マニュアル] ボタン

: マニュアルを表示します。

＼注意＼

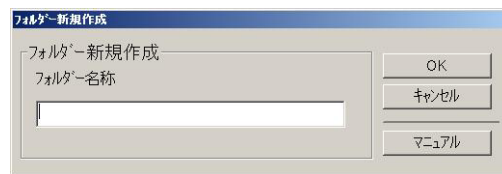
教材名は重複設定可能ですが、通常は教材名が重複しないように保存してください。

フォルダーを作成する

教材を保存するフォルダーを作成することができます。

1. 新規にフォルダーを作成する場合は、[フォルダー作成] ボタンを押します。
フォルダー新規作成画面が表示されます。
2. フォルダー名を入力します。
フォルダー名文字数 : 全角10文字（半角20文字）
使用不可の文字 : ¥/,:;*?"<> | &
3. フォルダー名の入力完了したら、[OK] ボタンを押します。

図 フォルダー作成画面



[OK] ボタン

: 設定を確定します。

[キャンセル] ボタン

: 設定を取り消します。

[マニュアル] ボタン

: マニュアルを表示します。

＼注意＼

フォルダー名は重複設定できません。重複しないように作成してください。

WBT型教材 / フォルダを削除する

すでに作成したフォルダ、WBT型教材を削除することができます。

1. WBT型教材作成画面で、メニューの [既にある教材を削除する (R)] を選択します。

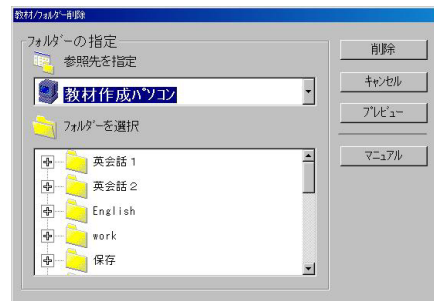
教材の削除 / フォルダ削除画面が表示されます。

2. 削除するフォルダまたはWBT型教材を選択します。

3. [削除] ボタンを押します。

WBT型教材作成画面に戻ります。

☒ 教材 / フォルダの削除画面



[削除] ボタン

: 選択したフォルダ / WBT型教材を削除します。

[キャンセル] ボタン

: 教材の削除は取り消し、教材の削除 / フォルダ削除画面を閉じます。

[プレビュー] ボタン

: 削除する前に教材をプレビューすることができます。編集中の教材がある場合は、プレビューできません。

[マニュアル] ボタン

: マニュアルを表示します。

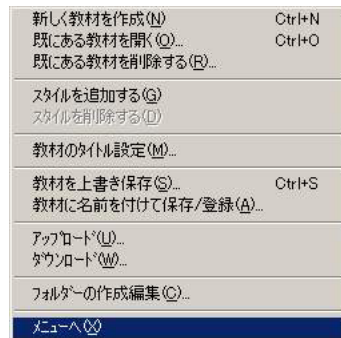
ㄨ 注意 ㄨ

フォルダ内に教材がある場合は、フォルダを削除することはできません。教材をまとめて削除する場合は、トップメニューの [アップロード / ダウンロード] ボタンを押すと表示されるアップロード / ダウンロード画面で削除を行ってください。詳しくは「教材を削除する」(☞134ページ)

メニューに戻る

教材の作成または編集が終了し、メニュー選択画面に戻ります。

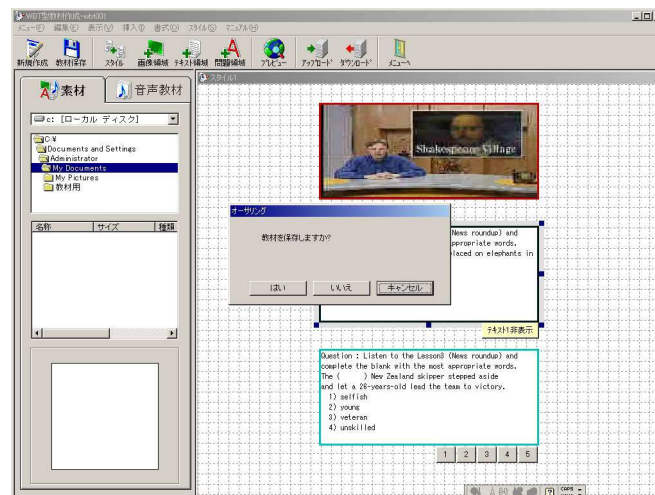
1. WBT型教材作成画面で、メニュー [メニューへ (X)] を選択します。
または、[メニューへ] ボタンを押します。



メニュー選択画面に戻ります。

- 教材作成中の場合は、保存確認画面が表示されます。

図 保存確認画面



[はい] ボタン

: 教材作成パソコン内の教材を編集中の場合は、上書き保存されます
新規作成中の場合は、教材を保存画面が表示されます。

[いいえ] ボタン

: 作成中の教材は保存されずに、メニュー選択画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

: メニュー選択画面には戻らずに、教材作成状態が継続されます。



第6章

WBT型教材の編集

ここでは、WBT型教材の編集のしかたについて説明します。

もくじ

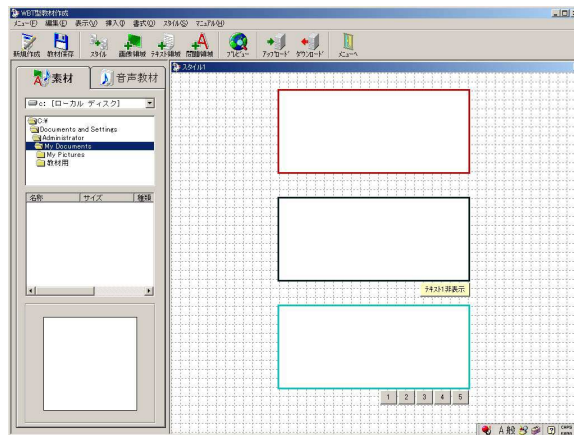
ダウンロードする	87
WBT型教材を編集する	90
アップロードする	92

ダウンロードする

サーバーに既に登録されているWBT型教材を選択し、教材作成パソコンにダウンロードします。ダウンロードした教材は編集作業が可能になります。

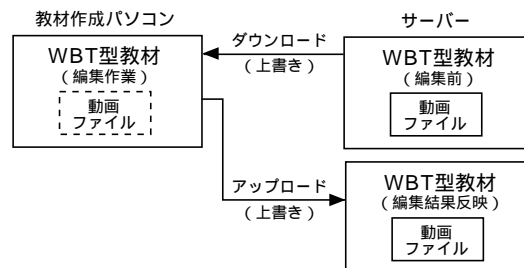
1. WBT型教材編集画面で、[ダウンロード] ボタンを押します。

図 WBT型教材作成画面



ダウンロード指定画面が表示されます。

2. ダウンロードする教材を選択します。
 - (a) サーバー内の教材一覧が表示されます。サーバー内の教材から、教材作成パソコンへ保存（ダウンロード）するWBT型教材を選択します。
 - (b) ダウンロード先である教材作成パソコン内のフォルダーが表示されます。教材作成パソコンのフォルダーを選択します。
 - (c) 既に教材作成パソコン内に同じ教材が保存されている場合に、上書きするかしないかを選択することができます。上書きする場合は、“教材作成パソコン上にある同じ教材を上書きする”をクリックしてチェックを入れます。
 - (d) サーバー上の動画ファイルを含む教材をダウンロードして編集する場合、「教材内の動画ファイルをダウンロードする」のチェックを外すと、ダウンロード時間を短縮することができます。その場合、ダウンロードした教材でプレビューしても、動画は再生されません。



注意

上記(c)、(d)の設定でチェックを外してダウンロードを行った場合、別教材（別教材ID）として作成される場合があります。その場合、動画情報が正常に動作しなくなる可能性がありますので、十分ご注意ください。

図 ダウンロード指定画面

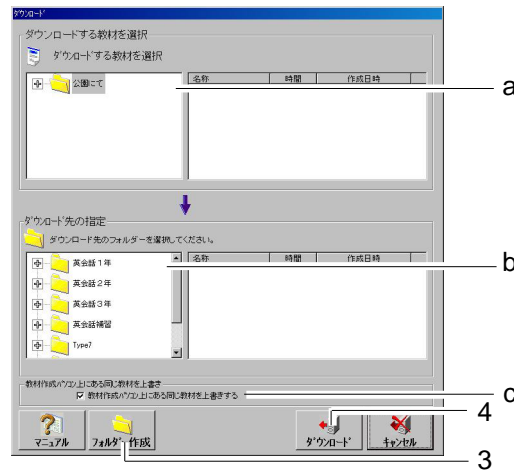
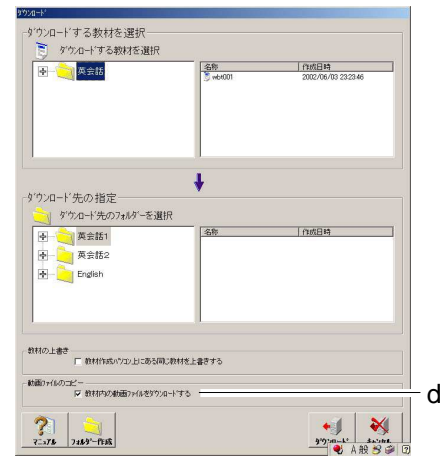
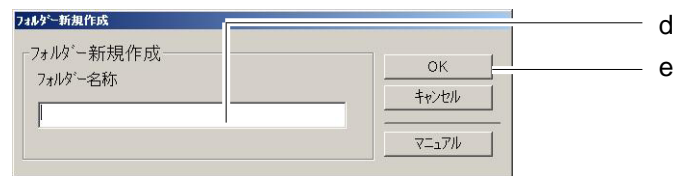


図 ダウンロード画面



- 教材作成パソコン内に新規フォルダーを作成する場合は、[フォルダー作成] ボタンを押すと、作成できます。
フォルダー新規作成画面が表示されます。

図 フォルダー作成画面



- (d) 新規作成するフォルダー名を入力します。
- (e) [OK] ボタンを押すと、設定されます。
フォルダー名文字数 : 全角10文字 (半角20文字)
使用不可の文字 : ¥ / ; , * ? " < > | &

- [ダウンロード] ボタンを押すと、ダウンロードを開始します。
ダウンロード中は、ダウンロード中画面が表示されます。

図 ダウンロード中画面



5. ダウンロード完了後に表示される、ダウンロード完了画面で [OK] ボタンを押します。

図 ダウンロード完了画面



[キャンセル] ボタン

: ダウンロードを中止し、WBT型教材編集画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

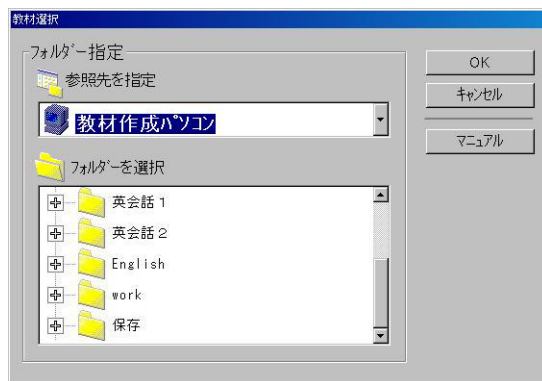
: 操作マニュアルが表示されます。

WBT型教材を編集する

すでに保存されているWBT型教材を編集することができます。

1. WBT型教材作成画面で、メニュー [メニュー (F)] を選択し、[既にある教材を開く (O)] を選択します。

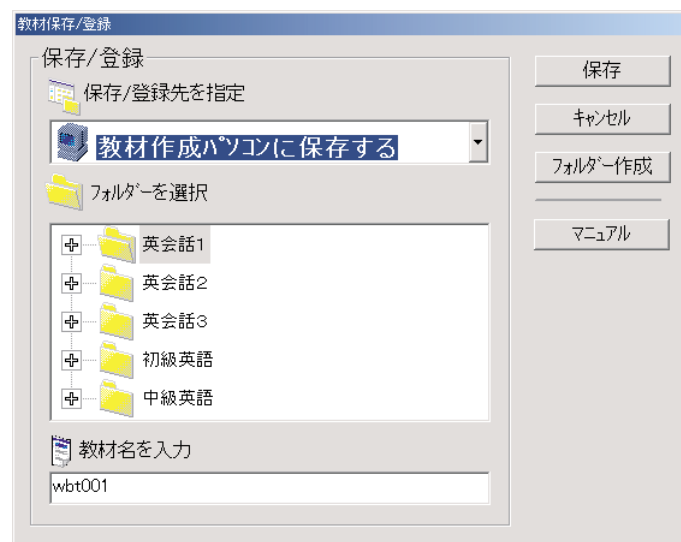
図 教材選択画面



教材選択画面が表示されます。

2. 編集したい教材を教材作成パソコン内から選択します。
選択された教材が開きます。
3. 編集した教材を保存します。
教材作成パソコン内の教材を編集している場合は、上書き保存されます。
サーバー内の教材を編集している場合は、サーバー教材の上書き保存はできません。
教材作成パソコンに保存してください。

図 教材保存確認画面



[保存] ボタン

：教材を保存します。

[キャンセル] ボタン

：教材の保存を取り消します。

[フォルダー作成] ボタン

：指定した格納先に、新規にフォルダーを作成します。

[マニュアル] ボタン

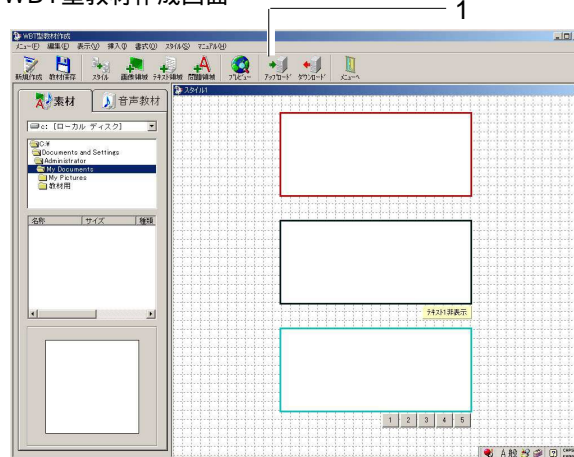
：マニュアルを表示します。

アップロードする

教材作成パソコン内に作成したWBT型教材を、サーバーへアップロード（登録）します。

1. WBT型教材編集画面で、[アップロード] ボタンを押します。
アップロード指定画面が表示されます。

図 WBT型教材作成画面



2. アップロードする教材を選択します。
 - (a) 教材作成パソコン内の教材一覧が表示されます。教材作成パソコン内の教材から、サーバーへアップロードするWBT型教材を選択します。
 - (b) アップロード先であるサーバー内のフォルダーが表示されます。
サーバー内のフォルダーを選択します。
 - (c) 既にサーバー内に同じ教材が登録されている場合に、上書きするかどうかを選択することができます。上書きする場合は、“サーバー上にある教材を上書きする”をクリックしてチェックを入れます。
 - (d) 既にサーバー上に動画ファイルを含む教材が登録されている場合、「教材内の動画ファイルをアップロードする」のチェックを外すと、アップロード時間を短縮することができます。

図 アップロード指定画面

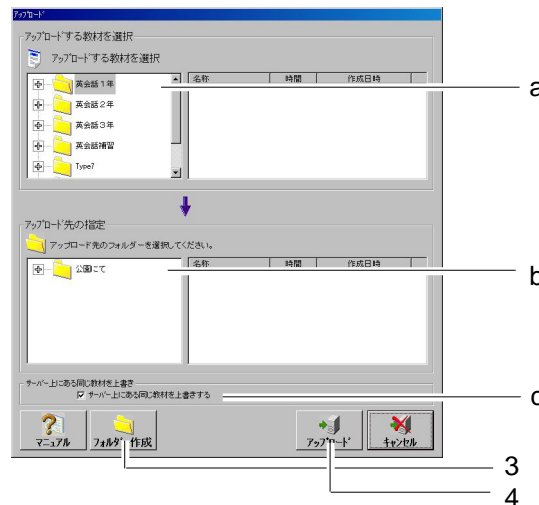
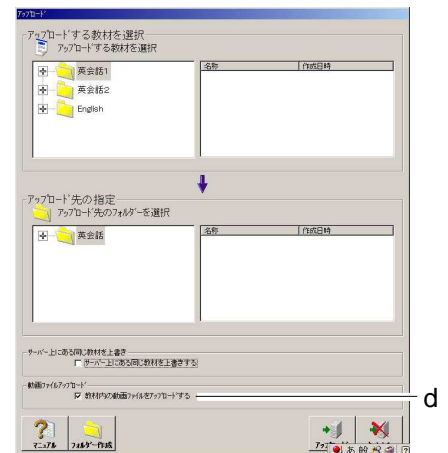


図 アップロード指定画面

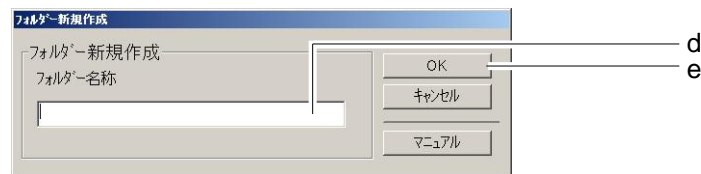


注意

「教材内の動画ファイルをアップロードする」のチェックを外し、新規登録を行うと動画ファイルは再生されなくなります。

3. サーバー内に新規フォルダーを作成する場合は、[フォルダー作成] ボタンを押すと、作成できます。
フォルダー作成画面が表示されます。

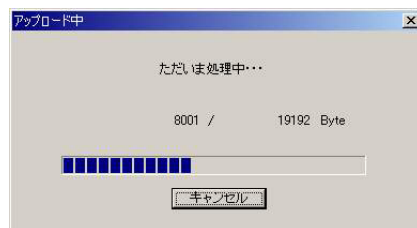
図 フォルダー作成画面



- (d) 新規作成するフォルダー名を入力します。
- (e) [OK] ボタンを押すと、設定されます。

4. [アップロード] ボタンを押すと、アップロードを開始します。
アップロード中はコピー中画面が表示され、フォルダーを作成することはできません。

図 アップロード中画面



5. アップロード完了後に表示される、アップロード完了画面で [OK] ボタンを押します。

図 アップロード完了画面



[キャンセル] ボタン

: アップロードを中止し、WBT型教材作成画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

: 操作マニュアルが表示されます。



第7章

WBT型教材の 作成（応用）

ここでは、WBT型教材の作成（応用）のしかたについて説明します。

もくじ

ハイパーリンクを利用した教材を 作成する	95
スタイルへのハイパーリンク設定	95
音声教材のハイパーリンク設定1	97
音声教材のハイパーリンク設定2	98
音声教材のハイパーリンク設定3	99
動画ファイルへのハイパーリンク設定1	101
動画ファイルへのハイパーリンク設定2	102
問題設定を利用した教材を作成する ...	104
問題設定	104
問題制限時間設定	106
評価機能を利用した教材を作成する ...	107
評価領域	107
問題グループの設定	109
テキスト欄の設定	109
回答欄の設定	110
領域の追加と削除	114
問題グループの追加と削除	114
回答欄の追加と削除	115
評価設定内容の確認	116
解説欄	117
教材データについて	118
学習履歴のデータ形式	120

ハイパーリンクを利用した教材を作成する

画像領域の画像やテキスト領域内の文字列と、他のスタイルや音声教材を結びつけることをハイパーリンクといいます。

ハイパーリンクを利用することにより、学習テーマの要点だけをまとめて提示し、さらにそのテーマについての多数の資料を見やすく整理した学習教材として活用することができます。

スタイルへのハイパーリンク設定

スタイルが複数存在するときのみ、設定できます。

1. ● 画像領域での設定の場合

画像領域を右クリックし、「スタイルへのハイパーリンク設定 (H)」を選択します。動画の場合は、設定できません。

スタイルへのハイパーリンク設定画面が表示されます。

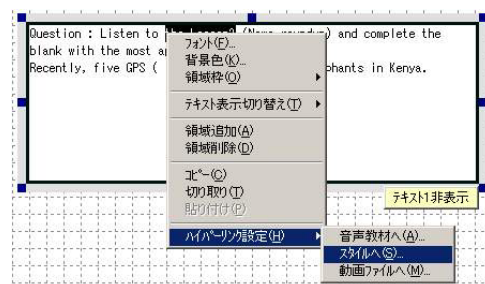
図 画像領域での右クリックメニュー画面



● テキスト領域での設定の場合

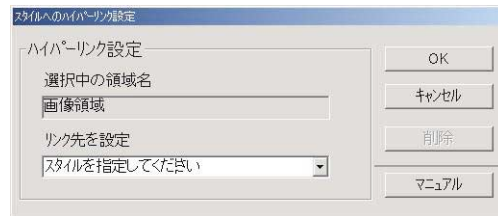
テキスト領域内の文字列を選択して右クリックし、「ハイパーリンク設定 (H)」の「スタイルへ (S)」を選択します。

図 テキスト領域での右クリックメニュー画面



スタイルへのハイパーリンク設定画面が表示されます。

図 スタイルへのハイパーリンク設定画面



2. ハイパーリンク先を指定します。

ハイパーリンク指定でリンク先のスタイルを選択することにより、ハイパーリンクが設定されます。

「選択中の領域名」

：画像領域でハイパーリンクを選択した場合は、「画像領域」となります。

テキスト領域でハイパーリンクを選択した場合は、「テキスト領域」となりません。

「リンクの指定」

：ハイパーリンク先のスタイルを指定します。

[キャンセル]

：設定を取り消します。

[削除]

：指定されている設定を削除します。

[マニュアル]

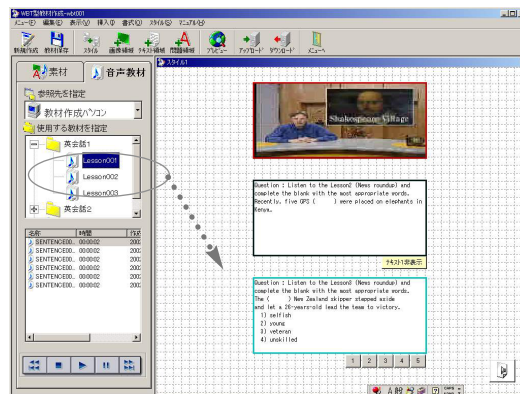
：マニュアルを表示します。

音声教材のハイパーリンク設定1

スタイルへ音声教材をドラッグ&ドロップすることで、音声教材へのハイパーリンクを設定することができます。

1. スタイルへ音声教材をドラッグ&ドロップします。

図 スタイルへの音声教材設定画面



2. 削除する場合は、スタイルを右クリックして表示されるメニューの [音声教材削除 (E)] を選択してください。

注意

テキスト領域に音声教材へのハイパーリンクが設定されている場合、また画像領域に、動画ファイルが貼り付けられている場合は、スタイルに音声教材のハイパーリンクを設定することはできません。

画像領域、テキスト領域のスタイルへのハイパーリンクは可能です。

3. スタイルを表示した際に、自動的に再生したい場合は、スタイルを右クリックして表示されるメニューの [再生モード設定 (P)] で、[自動再生 (A)] を選択してください。

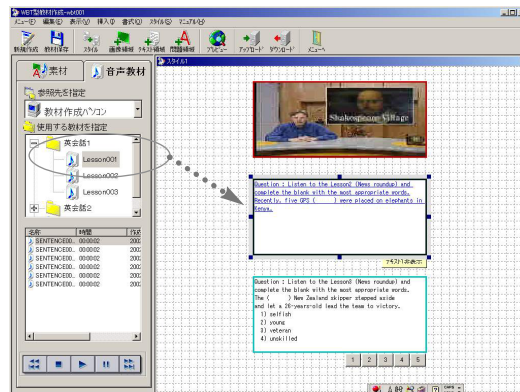


音声教材のハイパーリンク設定2

テキスト領域へ音声教材をドラッグ&ドロップすることで、音声教材へのハイパーリンクを設定することができます。

1. テキスト領域へ音声教材をドラッグ&ドロップします。

図 テキストへの音声教材設定画面



2. 削除する場合は、ハイパーリンクが設定されている文字列を選択して右クリックし、表示されるメニューから [ハイパーリンク設定 (H)] の [音声教材へ (A)] を選択します。
音声教材へのハイパーリンク設定画面で [削除] ボタンをクリックします。

注意

スタイルに音声教材へのハイパーリンクが設定されている場合は、テキスト領域に音声教材のハイパーリンクを設定することはできません。

画像領域、テキスト領域のスタイルへのハイパーリンクは可能です。

音声教材のハイパーリンク設定3

テキスト領域中の文字列を選択して、音声教材をハイパーリンク設定することができます。

1. テキスト領域内の文字列を選択して右クリックし、「ハイパーリンク設定 (H)」を選択し、「音声教材へ (A)」を選択します。

図 テキスト領域での右クリックメニュー画面

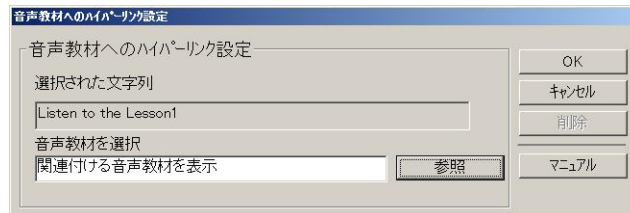


音声教材へのハイパーリンク設定画面が表示されます。

2. ハイパーリンク先を指定します。

ハイパーリンク指定でリンク先の音声教材を選択することにより、ハイパーリンクが設定されます。音声教材の選択は、音声教材選択画面で行います。

図 音声教材へのハイパーリンク設定画面



[選択された文字列]

: テキスト領域で選択した文字列が表示されます。

[音声教材を選択]

: [参照] ボタンをクリックすると、音声教材選択画面が表示されます。音声教材を選択して [OK] ボタンをクリックすると、音声教材が設定されます。

[OK]

: 設定を確定します。

[キャンセル]

: 設定を取り消します。

[削除]

: 指定されている設定を削除します。

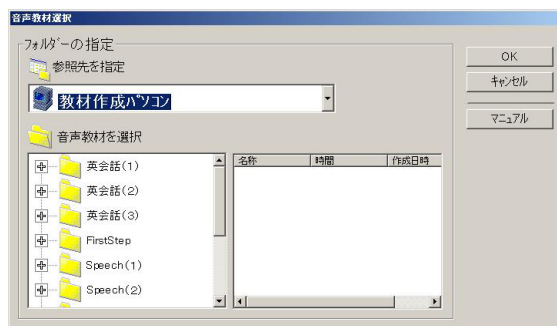
[マニュアル]

: マニュアルを表示します。

3. 音声教材を選択します。

音声教材選択画面で参照先を指定して、リンク先の音声教材（レッスン、センテンス）を選択し、[OK] ボタンを押します。

図 音声教材選択画面



[OK]

: 設定を確定します。

[キャンセル]

: 設定を取り消します。

[マニュアル]

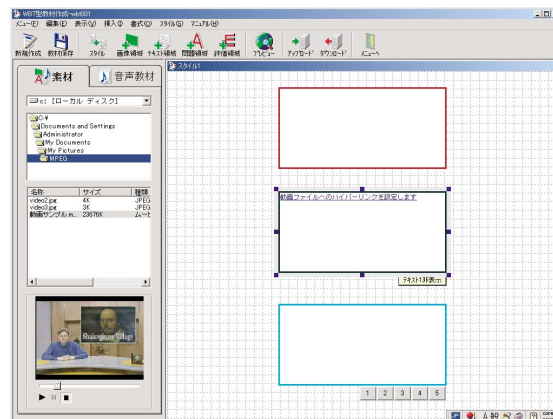
: マニュアルを表示します。

動画ファイルへのハイパーリンク設定1

テキスト領域へ動画ファイルをドラッグ&ドロップすると、動画ファイルへのハイパーリンクを設定することができます。

1. テキスト領域へ動画ファイルをドラッグ&ドロップします。

図 テキスト領域での動画ファイルへのハイパーリンク設定



2. 削除する場合は、ハイパーリンクが設定されている文字列を選択して右クリックし、表示されるメニューから [ハイパーリンク設定 (H)] の [動画ファイルへ (M)] を選択します。
動画ファイルへのハイパーリンク設定画面で [削除] ボタンをクリックします。

注意

- スタイルに音声教材へのハイパーリンクが設定されている場合は、画像領域に動画ファイルを設定することはできません。
- 動画ファイル (MPEG-1) は、総ビットレートが1.5 Mbps以下のものを選択してください。動画ファイルを使用する場合は、別途ビデオサーバーソフト (WE-AS880A) が必要です。
- 動画ファイル (MPEG-1) は、エンコーダーの種類によっては、再生時の挙動に影響がありますので、下記推奨品をご利用ください。

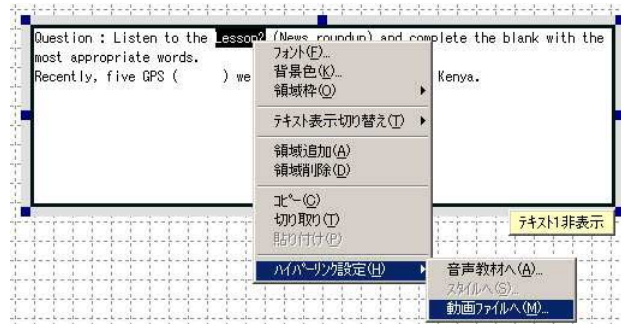
カノーブス (株) 製 : MPEG2リアルタイムエンコーダ/デコーダ
MVR-D2200 (2004年6月現在)

動画ファイルへのハイパーリンク設定2

テキスト領域中の文字列を選択して、動画ファイルへのハイパーリンクを設定することができます。

1. テキスト領域内の文字列を選択して右クリックし、[ハイパーリンク設定(H)]を選択し、[動画ファイルへ(M)]を設定します。

図 テキスト領域での右クリックメニュー画面



動画ファイルへのハイパーリンク設定画面が表示されます。

2. リンク先を指定します。動画ファイルを選択することにより、ハイパーリンクが設定されます。動画ファイルの選択は、ファイル選択画面で行います。

図 動画ファイルへのハイパーリンク設定画面



[選択された文字列]

: テキスト領域で選択した文字列が表示されます。

[選択された動画ファイル]

: [参照] ボタンをクリックすると、ファイル参照画面が表示されます。動画ファイルを選択して [OK] ボタンをクリックすると、選択した動画ファイルが設定されます。

[設定された動画ファイルの代表静止画表示]

: 設定された動画ファイルの代表静止画を表示します。

[設定]

: 設定を確定します。

[キャンセル]

: 設定を取り消します。

[削除]

: 指定されている設定を削除します。

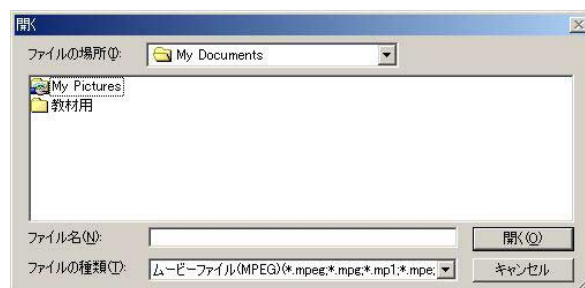
[マニュアル]

: マニュアルを表示します。

3. 動画ファイルを選択します。

動画ファイル選択画面で、動画ファイル（MPEG-1）を選択し、[開く] ボタンを押します。

☒ 動画ファイルの選択画面



[開く]

: 選択された動画ファイルが設定されます。

[キャンセル]

: 選択を取り消します。

∟注意∟

- 動画ファイル（MPEG-1）は、総ビットレートが1.5 Mbps以下のものを選択してください。
- 動画ファイル（MPEG-1）は、エンコーダの種類によっては、再生時の挙動に影響がありますので、推奨品をご利用ください。
- DirectX9.0b ランタイム（WE-AS870A CD-ROM）をセットアップしてください。

問題設定を利用した教材を作成する

問題設定

問題を設定することにより、自習用の教材を作成することができます。

1. WBT型教材作成画面で、問題領域を右クリックし、メニューから「問題設定 (I)」を選択します。

図 問題設定選択画面



問題設定画面が表示されます。

2. ボタン数（選択枝数） 正答番号、回答メッセージを設定します。

図 問題設定画面



3. [OK] ボタンを押すと、設定した内容が確定され、WBT型教材作成画面に戻ります。

[ボタン数]

: 回答を選択するボタン（最大5つ）の数を設定します。

[正答番号]

: 正答のボタン番号を設定します。

[メッセージ設定]

: 「メッセージを表示する」にチェックを入れると、正解時/不正解時に表示するメッセージを設定できます。その際に使用する「静止画」「テキスト」「音声教材」は、[参照] ボタンを押して、ファイルを選択することができます。参照先が指定されていない場合は、初期設定値が表示されます。選択すると、[参照] ボタンは [削除] ボタンに切り替わり、[削除] ボタンを押すと、設定内容を削除することができます。「メッセージを表示する」にチェックを入れないと、デフォルトのメッセージが表示されます。

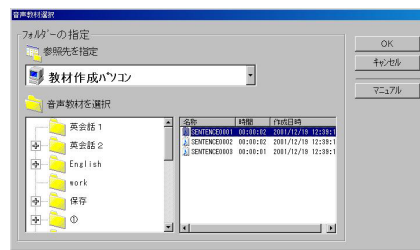
図 ファイル指定（静止画）



図 ファイル指定（テキスト）



図 ファイル指定（音声教材）



[OK]

: 設定した内容が確定されます。

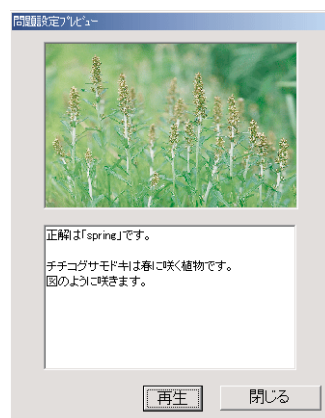
[キャンセル]

: 設定を取り消します。

[プレビュー]

: プレビュー画面が表示され、選択している正解 / 不正解タブの内容を表示します。

図 プレビュー画面



[再生]

: 音声教材で設定した音声を再生します。

[閉じる]

: プレビュー画面を閉じます。

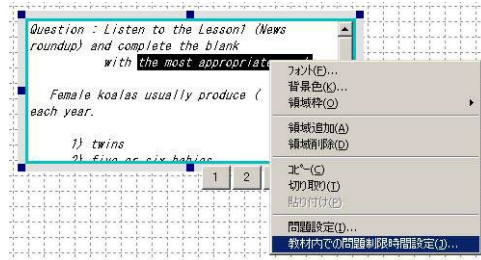
[マニュアル]

: マニュアルを表示します。

問題制限時間設定

教材全体に対する制限時間を設定することができます。制限時間が過ぎると、問題領域の回答ボタンを押すことができなくなります。

1. WBT型教材作成画面で、問題領域を右クリックし、メニューから「問題制限時間設定（J）」を選択します。



制限時間設定画面が表示されます。

2. 問題制限時間を設定します。

図 制限時間設定画面



[制限時間なし]

: 回答時間の時間制限は行いません。

[制限時間あり]

: 回答時間の時間制限（59分59秒まで）を設定できます。

[OK]

: 設定した内容が確定されます。

[キャンセル]

: 設定を取り消します。

[マニュアル]

: マニュアルを表示します。

3. [OK] ボタンを押すと設定した内容が確定され、WBT型教材作成画面に戻ります。

＼注意＼

設定した制限時間は教材全体に有効となり、個々の問題に対する制限時間を設定することはできません。また、問題制限時間設定で設定した時間と、評価問題で設定した時間は、独立して動作します。問題領域の回答結果は、学習者履歴ファイルに出力されません。

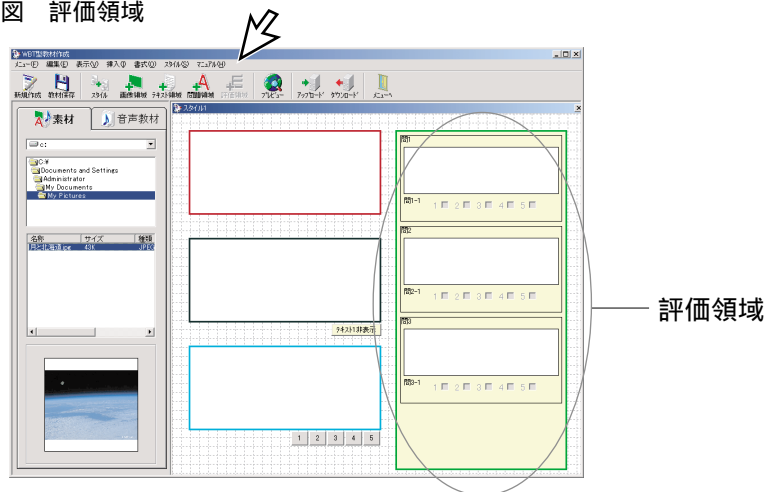
評価機能を利用した教材を作成する

評価領域

評価領域を設定することにより、さまざまな出題パターンの問題を作成することができます。

1. ツールバーの [評価領域] ボタンを押し、評価設定画面を起動します。

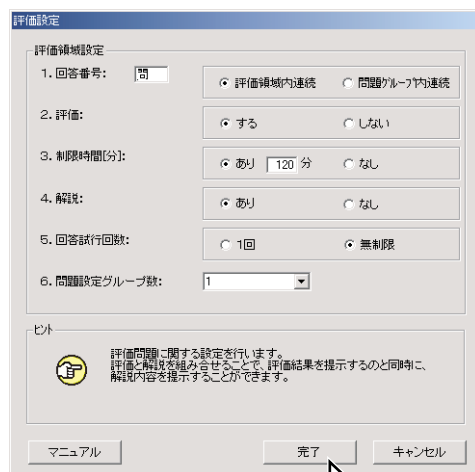
図 評価領域



評価領域設定画面が表示されます。

2. 評価設定場面で評価領域に関する設定を行い、[完了] ボタンを押すと、スタイル上に評価領域が作成されます。

図 評価領域設定画面



回答番号

：問題番号の先頭に見出し用頭文字を付与します。全角2文字（半角4文字）以内で設定してください。

評価領域内連続 / 問題グループ内連続

：連番を付与していく範囲を設定します。

評価

：学習者の回答を評価するか否かを設定します。

制限時間 [分]

：回答を受け付ける制限時間を設定します。0～120分まで設定可能で、0分にすると制限時間なし設定になります。制限時間を設定していても、回答試行回数が一回に設定されていると、制限時間に達していなくても、回答した時点で、回答受付は締め切られます。

解説

：評価出題内容の解説やコメントを表示するか否かを設定します。

回答試行回数

：回答を受け付ける回数を設定します。一回に設定すると、回答受付は一回のみで、無制限に設定すると、回答制限時間内は何度でも回答を変更することができます。

問題設定グループ数

：評価領域内に配置する問題グループの数を設定します。

[マニュアル] ボタン

：操作マニュアルが表示されます。

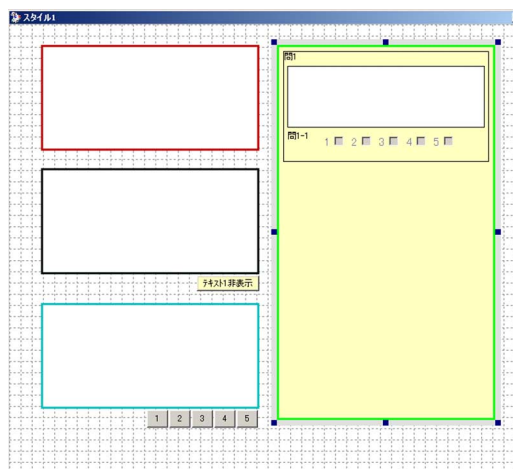
[完了] ボタン

：評価領域設定を終了し設定した内容を確定し、評価領域が追加されます。

[キャンセル] ボタン

：評価領域設定を終了し設定した内容を取り消します。評価領域は追加されません。

図 評価領域の追加されたスタイル



問題グループの設定

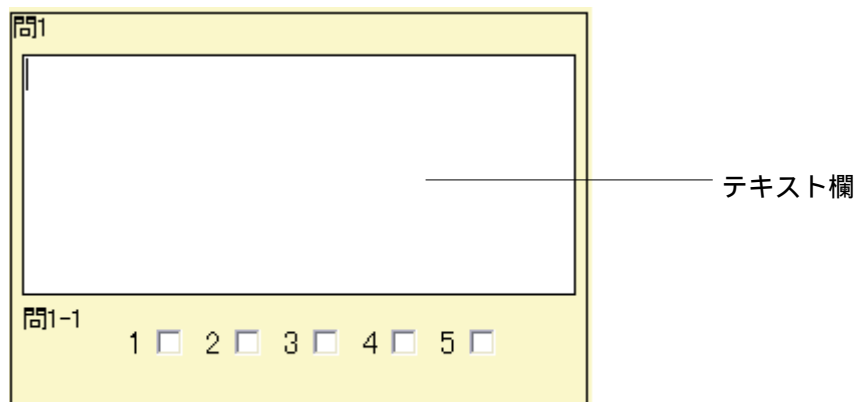
問題グループの背景色を変更したい場合は、問題グループを右クリックし、メニューの「問題グループ」のサブメニューから「背景色（K）」を選択し、背景色設定画面から設定を行います。

テキスト欄の設定

テキスト欄には、問題出題用の文章を入力します。

- テキスト欄の高さを変更したい場合、テキスト欄を右クリックし、メニューの「テキスト欄」のサブメニューから「行数設定」を選択し、希望の行数を設定します。
- テキスト欄のフォントや背景色を変更したい場合、テキスト欄を右クリックし、メニューから「フォント」または「背景色」を選択し、フォント画面、または背景色設定画面から設定を行います。

図 テキスト欄



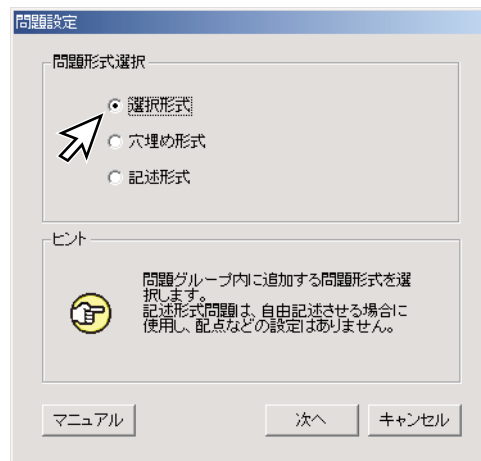
- 横方向のサイズは、評価領域のサイズに追従して最適化されます。
- 縦方向のサイズは、問題文が指定の領域内に表示しきれない場合、自動的にスクロールバーが表示され、スクロール表示ができるようになります。

回答欄の設定

回答欄に、出題する問題にあった回答形式を設定します。

回答欄を右クリックし、メニューから「回答設定」を選択し、設定したい問題形式を選択します。

図 問題設定パネル



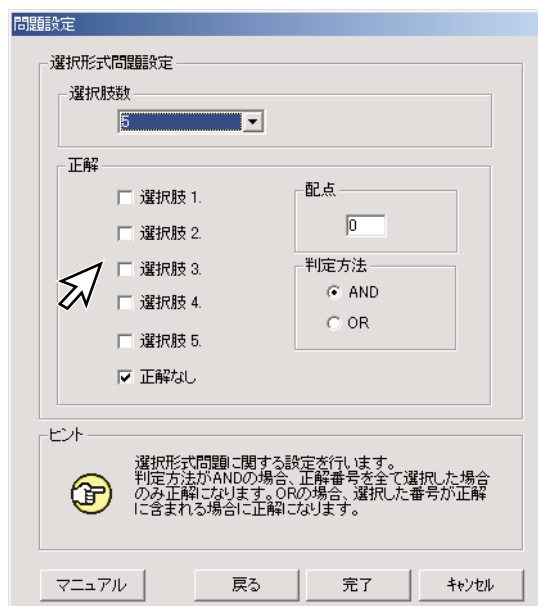
注意

問題設定画面の [次へ] ボタンは、「記述問題」を選択すると [完了] ボタンに変わります。記述問題では、そのまま [完了] ボタンを押して、完了してください。

1. 選択形式問題の作成

1. 問題設定画面で、「選択形式」を選択し、[次へ] ボタンを押すと、選択形式問題に関する設定画面が表示されます。そこで、問題にあった選択肢数を選択します。

図 問題設定画面



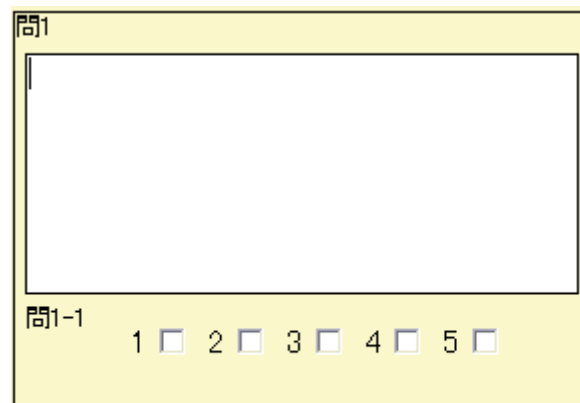
2. 「選択肢数」を選択します。

- ①正解となる選択肢の番号
- ②正解の場合の得点
- ③判定方法

「正解なし」を選択した場合、正答なしの問題（アンケート形式）が作成されます。
配点は0点から100点の間で設定できます。

3. [完了] ボタンを押すと設定が完了し、回答欄に選択形式問題が設定されます。

図 問1に選択問題が設定された回答欄



問1

問1-1 1 2 3 4 5

＼OR、ANDとは＼

OR：複数の選択肢を正解に設定した場合、回答者がどちらかの選択肢を選択したときに正解とします。

AND：複数の選択肢を正解に設定した場合、回答者が全ての選択肢を選択したときのみ正解とします。

＼注意＼

- 正解の設定では、選択肢数設定画面で、選択した選択肢数よりも大きな値を設定することはできません。
- 得点は、正解の場合のみ有効です。

2. 穴埋め形式問題

1. 問題設定画面で、「穴埋め形式」を選択し、[次へ]ボタンを押すと、穴埋め形式問題に関する設定画面が表示されます。はじめに、正解として認める正解パターンの数を選択します。

図 穴埋め形式用問題設定画面

2. 「パターン1～5」に、正解として認める語句を入力し、マッチタイプ、配点の値を入力します。設定できる文字数は、全角100文字（半角200文字）までです。配点は、0点から100点の間で設定できます。
3. [完了]ボタンを押すと設定が終了し、回答欄に穴埋め形式の問題が設定されます。

図 問1-2 に穴埋め問題が設定された回答領域

＼マッチタイプの設定＼

正解として認める語句として設定した文字がアルファベットの場合、その文字が大文字、小文字を区別するか否かを設定することができます。マッチタイプで「区別しない」に設定した場合、「Study」と「study」のような違いは区別されなくなります。

注意

- 正解パターンは、正解パターン数設定画面で設定した数を超えて、正解パターンを登録することはできません。
- 全角文字と半角文字は、異なる文字と認識されます。
 （例）全角「STUDY」と半角「study」
- スペースも文字として区別します。

3.記述形式問題

問題設定画面で、「記述形式」を選択し、[完了]ボタンを押すと、設定画面が完了し、回答欄に記述形式問題が設定されます。

- 記述欄へは、全角2000文字（半角4000文字）まで入力することができます。
- 記述問題の場合、正解や配点を設定することはできません。
- 記述問題によって、学習者が回答した内容は、学習履歴（121ページ）をご参照ください。

図 問1-2 に記述問題が設定された回答領域

注意

回答欄のサイズは記述問題の行数を反映して自動的に最適化されます。
 手動で変更したい場合は、回答欄を右クリックしてメニューから「行数設定」を選択し、希望する行数に設定してください。
 ただし、横方向へは、問題領域のサイズ変更に伴って自動的に最適化されます。

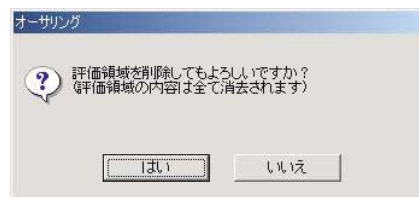
領域の追加と削除

新規に評価領域を作成する場合は、「各領域を追加・削除する」(☞75ページ)をご参照ください。

評価領域は一つのスタイルで一つのみ作成可能です。

削除する場合は、評価領域上を右クリックし、メニューから「領域削除(D)」を選択すると「評価領域削除確認」パネルが表示されます。

図 評価領域削除確認パネル



[はい] ボタンを押すと、評価領域が削除されます。

問題グループの追加と削除

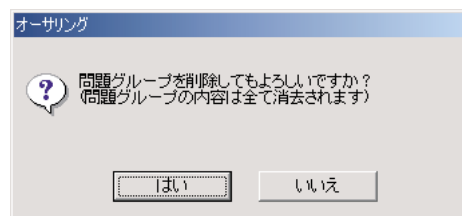
● 問題グループを追加

評価領域内で右クリックし、メニューから「問題グループ(S)」 「問題グループ追加(I)」 「最後(A) / 前(F) / 後(B)」から追加したい箇所を選択します。現在選択されている問題グループの最後 / 前 / 後に問題グループが追加されます。

● 問題グループを削除する

問題グループ内で右クリックし、メニューから「問題グループ(S)」 「問題グループ削除(D)」を選択すると、クリックした問題グループの削除確認パネルが表示されます。

図 問題グループの削除確認パネル



[はい] ボタンを押すと、選択した問題グループが削除されます。

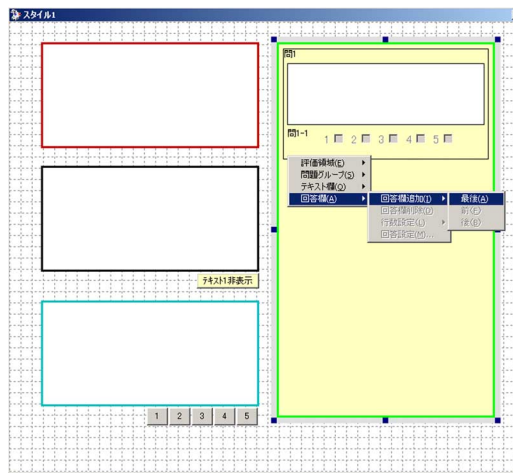
＼注意＼

評価領域内にある、最後の問題グループを削除しようとする時、評価領域の削除確認パネルが表示されます。

回答欄の追加と削除

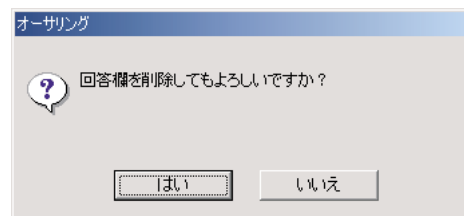
● 回答欄を追加

回答欄を右クリックし、メニューから「回答欄 (A)」 「回答欄追加 (I)」 「最後 (A) / 前 (F) / 後 (B)」を選択すると、現在表示されている回答欄の最後 / 前 / 後に、新しい回答欄が追加されます。



● 回答欄を削除する

回答欄を右クリックし、メニューから「回答欄 (A)」 「回答欄削除 (D)」を選択すると、クリックした回答欄の削除確認パネルが表示されます。



[はい] ボタンを押すと、選択した回答欄が削除されます。

● 回答設定を変更する

回答欄を右クリックし、メニューから「回答欄 (A)」 「回答設定 (M)」を選択すると、「問題形式設定」パネルが表示されます。

問題形式設定の方法は、「回答欄の設定」(⇒110ページ)をご参照ください。

＼注意＼

問題形式を変更すると、その回答欄に設定している設定内容はすべて削除されます。

評価設定内容の確認

評価領域で設定した内容は、評価設定内容画面で確認することができます
 メニューの「表示(V)」メニューから「評価設定内容(E)」を選択します。

評価設定画面が表示されます。

図 評価設定内容画面

評価	回答試行回数	回答制限時間	配点	問題数	
スタイル1	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 1回	120	100	1
	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 1回			
	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 1回			
	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 1回			
	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 1回			
Total		120	100	1	

注意

この画面では、評価あり/なし、回答試行回数の設定を変更することはできません。

解説欄

評価領域で作成した問題に対して、解説を付与することができます。
 解説領域は、学習者が問題を解き終え、評価結果を閲覧する際に表示されます。

1. 評価領域を右クリックし、メニューから「評価領域 (E)」を選択し、「解説内容編集 (G)」を選択すると、WBTビューワ評価結果出力画面イメージが表示されます。

図 評価結果イメージ

教材名-スタイル名						
氏名		ユーザー名		座席番号		ログイン日時
教材名		開始時間	終了時間	取得点数	総配点	所要時間
評価問題サンプル		00:15:41	(回答中)	70	100	00:01:36
平均所要時間	00:00:10					
スタイル名	問題番号	回答	正解	得点	配点	記述欄
スタイル1	Q1-1	1	1	10	10	
	Q2-1	is	is	10	10	
	Q3-1	記述欄参照				Impact of Local Roads and ...
	Q4-1	2	2,4	0	10	
	Q5-1	is not	is not,isn't	10	10	
	Q6-1	1,2,3,4,5	1,2,3,4,5	30	30	
	Q7-1	1,2,4	5	0	10	
	Q8-1	2	2	10	10	
	Q9-1	did	do	0	10	
	Q10-1	記述欄参照				Institutions and Service P.
Total				70	100	
解説						
ここに解説内容を記述してください						
<div style="border: 1px solid gray; height: 100px; width: 100%;"></div>						
マニュアル		完了			キャンセル	

2. 解説領域を右クリックし、メニューから「フォント (F)」または「背景色 (K)」を選択すると、フォント設定画面、または背景色設定画面が表示されます。
 各設定画面で設定することで、解説領域内のフォント・背景色を変更することができます。
3. WBTビューワ評価結果出力画面イメージ内の解説領域に解説内容を記述し、[完了] ボタンを押すと、解説内容が設定されます。

教材データについて

学習者の回答内容は学習履歴に保存されます。

● 学習履歴の保存場所

学習履歴の保存場所は、以下の通りです。

・ 授業時

・ 学習者全体の学習履歴

「ファイル配信サーバー」¥L3Stage¥database¥Usr¥「先生ユーザー名」¥「クラス/講義名」¥HIS¥（年月日）-（通し番号）.csv

・ 学習者毎の音声教材学習履歴

「ファイル配信サーバー」¥L3Stage¥database¥Usr¥「先生ユーザー名」¥「クラス/講義名」¥HIS¥「ログインユーザー名」¥AUD¥（年月日）-（通し番号）.csv

・ 学習者毎のWBT型教材学習履歴

「ファイル配信サーバー」¥L3Stage¥database¥Usr¥「先生ユーザー名」¥「クラス/講義名」¥HIS¥「ログインユーザー名」¥WBT¥（年月日）-（通し番号）.csv

・ オープンルーム時

・ 学習者全体の学習履歴

「ファイル配信サーバー」¥L3Stage¥database¥Usr¥「先生ユーザー名」¥Openroom¥HIS¥（年月日）-（通し番号）.csv

・ 学習者毎の音声教材学習履歴

「ファイル配信サーバー」¥L3Stage¥database¥Usr¥「先生ユーザー名」¥Openroom¥HIS¥「ログインユーザー名」¥AUD¥（年月日）-（通し番号）.csv

・ 学習者毎のWBT型教材学習履歴

「ファイル配信サーバー」¥L3Stage¥database¥Usr¥「先生ユーザー名」¥Openroom¥HIS¥「ログインユーザー名」¥WBT¥（年月日）-（通し番号）.csv

・ スタンドアローン時

・ 学習者毎の音声教材学習履歴

「ファイル配信サーバー」¥L3Stage¥database¥Usr¥Standalone¥HIS¥「ログインユーザー名」¥AUD¥（年月日）-（通し番号）.csv

・ 学習者毎のWBT型教材学習履歴

「ファイル配信サーバー」¥L3Stage¥database¥Usr¥Standalone¥HIS¥「ログインユーザー名」¥WBT¥（年月日）-（通し番号）.csv

・ライブラリーシステム時

・ 学習者全体の学習履歴

「ファイル配信サーバー」¥L3Stage¥database¥Usr¥「先生ユーザー名」
¥Library¥HIS¥（年月日）-（通し番号）.csv

・ 学習者毎の音声教材学習履歴

「ファイル配信サーバー」¥L3Stage¥database¥Usr¥「先生ユーザー名」
¥Library¥HIS¥「ログインユーザー名」¥AUD¥（年月日）-（通し番号）.csv

・ 学習者事のWBT型教材学習履歴

「ファイル配信サーバー」¥L3Stage¥database¥Usr¥「先生ユーザー名」
¥Library¥HIS¥「ログインユーザー名」¥WBT¥（年月日）-（通し番号）.csv

＼注意＼

ファイル形式はCSV形式なのでMicrosoft Excel 等を使用して閲覧・編集することができます。

学習履歴のデータ形式

オーサリングソフトで作成された教材を使用して学習した際に、学習履歴に残される内容は以下の通りです。

● 音声教材を使用して学習した場合

図 学習履歴例（音声教材を使用）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	A	B	C	D	E	F	G	H
1	ログイン名	学習者名	座席番号	ログイン時間	使用教材名	再生開始時間	再生終了時間	再生時間
2	A01	A01	A01	2003.01.30 10:56	英会話1	2003.01.30 10:56:53	2003.01.30 10:56:57	0:00:04

- ① ユーザー名 : L3 Stageシステムにログインした際のログイン名。
- ② 学習者氏名 : 学習者名簿に登録された名前。スタンドアローン起動の場合は空欄。
- ③ 座席番号 : 授業座席位置。座席表を使用しない場合やDHCP接続の場合、スタンドアローン起動の場合は空欄。
- ④ ログイン時間 : L3Stageシステムにログインした際の時間。
- ⑤ 使用教材名 : 学習者の使用した教材名称。
- ⑥ 開始時間 : 教材を再生開始した時間。
- ⑦ 終了時間 : 使用した教材を終了した時間。
- ⑧ 所要時間 : 「終了時間」から「開始時間」を引いた時間。

● WBT型教材を使用して学習した場合

図 学習履歴例（WBT型教材を使用）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	ユーザー名	学習者名	座席番号	ログイン時間	教材名	開始時間	終了時間	所要時間	問題番号	回答番号	正解番号	得点	所要平均時間	記述欄
2	yamada	AD2	AD2	2003.01.29 11:01	英会話1	2003.01.29 11:12:20	2003.01.29 11:15:45	25						
3	yamada	AD2	AD2	2003.01.30 12:05	英会話2	2003.01.30 12:08:20	2003.01.30 12:12:45	25	スタイル 問1-1	travel	1,2	0	0:00:08	
4	yamada	AD2	AD2	2003.01.31 10:25	英会話3	2003.01.31 10:28:20	2003.01.31 11:52:45	25	スタイル 問1-1	記述欄参照		100	0:00:08	私はパソコンが好きなので苦手な英語も楽しく勉強する事ができました。
5	yamada	AD2	AD2	2003.01.31 16:35	初級会話	2003.01.31 16:36:20	2003.01.31 17:02:45	25	スタイル 問1-1	3		0	0:00:08	
6														
7														

- ① ユーザー名 : L3 Stageシステムにログインした際のログイン名。
- ② 学習者氏名 : 学習者名簿に登録された名前。スタンドアローン起動の場合は空欄。
- ③ 座席番号 : 授業座席位置。座席表を使用しない場合やDHCP接続の場合、スタンドアローン起動の場合は空欄。
- ④ ログイン時間 : L3Stageシステムにログインした際の時間。
- ⑤ 使用教材名 : 学習者の使用した教材名称。
- ⑥ 開始時間 : 教材を表示した時間。
- ⑦ 終了時間 : 使用した教材を終了した時間。
- ⑧ 所要時間 : 「終了時間」から「開始時間」を引いた時間。
- ⑨ 問題番号 : 「スタイル番号」-「問題番号」。評価問題以外は対象外。
- ⑩ 回答番号 : ユーザーの回答内容。穴埋め問題の場合は回答文字列。評価問題以外は対象外。
- ⑪ 正解番号 : 正解内容。穴埋め問題の場合は正解文字列。評価問題以外は対象外。
- ⑫ 得点 : 学習者の問題ごとの獲得点数。評価問題以外は対象外。
- ⑬ 所要時間 : スタイルごとの各問題の回答に要した時間の平均。評価問題以外は対象外。
- ⑭ 記述欄 : 記述問題の回答内容。評価問題以外は対象外。

＼注意＼

- アナライザ結果は出力されません。
- 問題領域の回答結果は出力されません。



第8章

教材のアップロード/ダウンロード

ここでは、教材作成パソコンや外部メディアに保存している教材をサーバーへ登録する方法と、サーバー教材を教材作成パソコンや外部メディアへコピーする方法について説明します。

もくじ

教材をアップロード/ダウンロードする	123
教材をアップロードする	124
アップロード先にフォルダーを作成する	128
教材をダウンロードする	129
ダウンロード先にフォルダーを作成する	133
教材を削除する	134
ダウンロードした教材をCD-Rに保存する	...	136

教材をアップロード/ダウンロードする

メニュー選択画面の [アップロード/ダウンロード] ボタンから行うアップロード/ダウンロードでは、以下の操作を行うことができます。

● 外部メディアへのダウンロード

MOやコンパクトフラッシュ、USBメモリ、CD-Rなどへのダウンロードができます。ただし、CD-Rの場合は、いったんデスクトップにダウンロードしますので、オーサリングソフトを終了後、CD-R専用書き込みソフトを使用して、書き込みを行ってください。

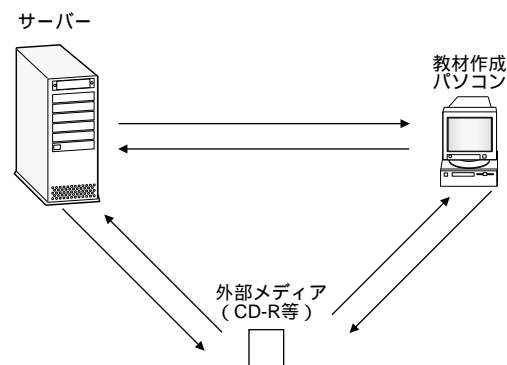
● 外部メディアからのアップロード

異なるユーザーの作成した教材もアップロードすることができます。

● アップロード/ダウンロード

音声教材と、WBT教材をまとめてアップロード/ダウンロードできます。アップロード/ダウンロードする際に、教材だけでなく、フォルダーを複数選択して行うことができます。

図 アップロード/ダウンロードイメージ



ダウンロード先にCD-Rを選択した場合、教材作成パソコン内のCD-R用一時フォルダーにダウンロードされます。

教材をアップロードする

教材作成パソコンにある教材や、外部メディアに保存された教材をサーバーに登録したり、外部メディアに保存された教材を教材作成パソコンにコピーすることができます。

図 アップロードの種類

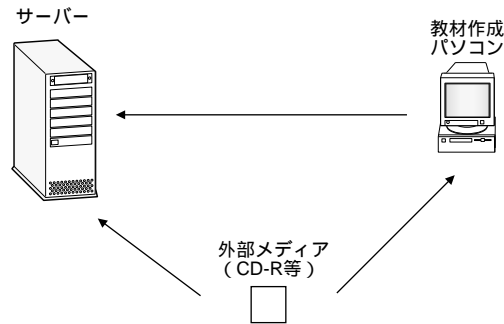
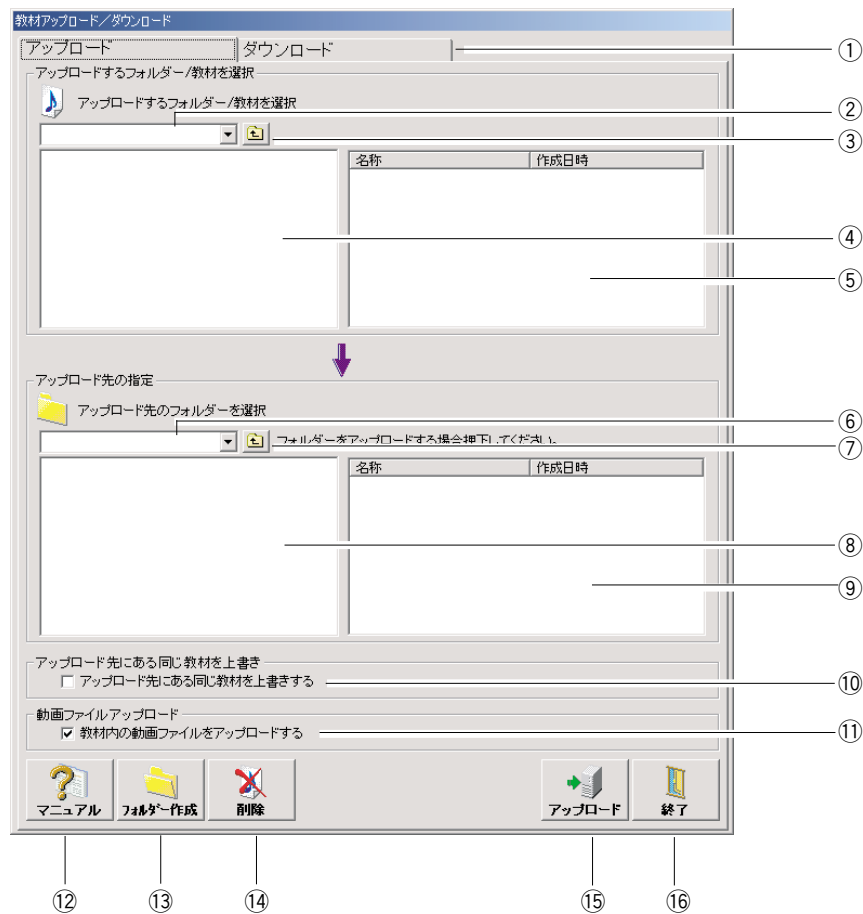


図 アップロード画面



- ① アップロード/ダウンロード切換タブ：アップロード/ダウンロードの画面を切り換えます。
- ② アップロード元ドライブ選択：教材の保存されているドライブを選択します。

- ③ [上へ] ボタン：教材選択領域にフォルダーを表示します。
- ④ 教材表示領域：選択したドライブに含まれる教材が表示されます。
- ⑤ 教材選択領域：アップロードする教材を選択します。
- ⑥ アップロード先ドライブ選択：アップロード先のドライブを選択します。
- ⑦ [上へ] ボタン：教材選択領域にフォルダーを表示します。
- ⑧ 教材表示領域：選択したドライブに含まれる教材が表示されます。
- ⑨ アップロード先選択領域：アップロード先のフォルダーを選択します。教材を削除するときも、この領域から選択します。
- ⑩ 上書き確認：同一教材があった際に、上書きする場合はチェックします。
- ⑪ 教材内動画アップロード確認：教材に含まれる動画ファイルをアップロードする場合はチェックします。
- ⑫ [マニュアル] ボタン：マニュアルを表示します。
- ⑬ [フォルダー作成] ボタン：新規にフォルダーを作成します。
- ⑭ [削除] ボタン：選択した教材を削除します。
- ⑮ [アップロード] ボタン：選択した教材をアップロードします。
- ⑯ [終了] ボタン：アップロードを終了します。

1. メニュー選択画面で、[アップロード/ダウンロード] ボタンを押します。

アップロード/ダウンロード画面が表示されます。

図 メニュー選択画面

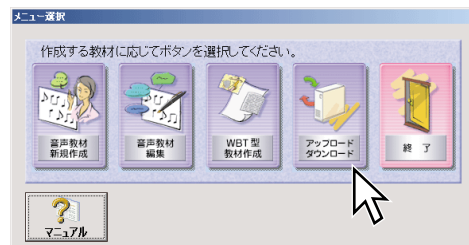
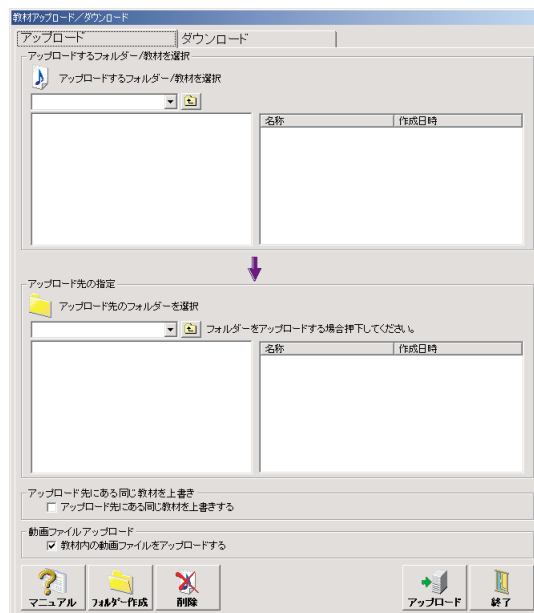
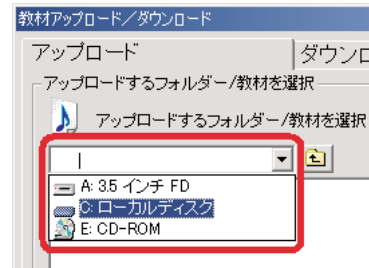


図 アップロード/ダウンロード画面



参照先のドライブを変更する場合は、ドライブ選択メニューから、ドライブを選択してください。

図 ドライブ選択メニュー



2. 「アップロードするフォルダー/教材を選択」の下に表示されている領域の中から、アップロードする教材を選択します。

教材を選択してアップロードする場合

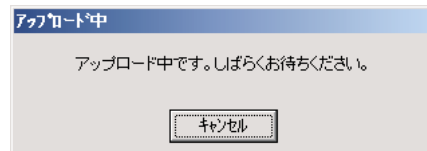
- (a) アップロード元の教材表示領域に、表示されている教材（レッスン/WBT型教材）を選択します（画面右側の教材選択領域では、複数選択が可能です）。
- (b) アップロード先の教材表示領域でフォルダーを選択します。
- (c) アップロード先に同じ教材が保存されている場合に、上書きするか、しないかを選択します。上書きする場合は、“アップロード先にある同じ教材を上書きする”をクリックしてチェックを入れます。
- (d) 動画ファイルの含まれる教材をアップロードする場合、教材に含まれる動画ファイルをアップロードするか、しないかを指定します。動画ファイルをアップロードする場合は、“教材内の動画ファイルをアップロードする”をクリックしてチェックを入れます。

フォルダーを選択してアップロードする場合

- (a) アップロード元の教材表示領域でフォルダーを選択します（画面右側の教材表示領域では、複数選択が可能です）。
- (b) フォルダーを選択してアップロードする場合、アップロード先の教材やフォルダーを選択する必要はありません。
- (c) アップロード先に同じ教材が保存されている場合に、上書きするか、しないかを選択します。上書きする場合は、“アップロード先にある同じ教材を上書きする”をクリックしてチェックを入れます。
- (d) 動画ファイルの含まれる教材をアップロードする場合、教材に含まれる動画ファイルをアップロードするか、しないかを指定します。動画ファイルをアップロードする場合は、“教材内の動画ファイルをアップロードする”をクリックしてチェックを入れます。

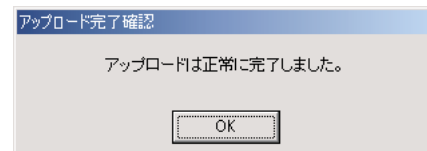
3. [アップロード] ボタンを押すと、アップロードが開始されます。

図 アップロード中画面



4. アップロードが完了すると、完了パネルが表示され、[OK] ボタンを押すと、アップロード/ダウンロード画面に戻ります。

図 アップロード完了パネル

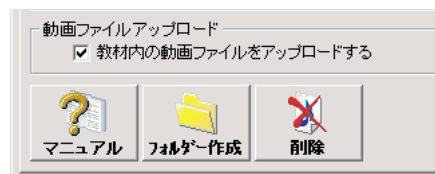


アップロード先にフォルダーを作成する

アップロード先に適切なフォルダーが無い場合などには、フォルダーを新規に作成し、そこにアップロードすることもできます。

1. [フォルダー作成] ボタンを押します。

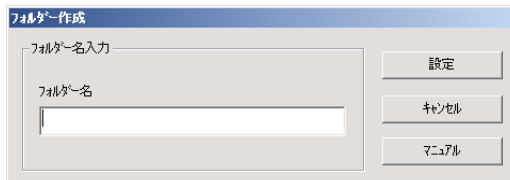
図 フォルダー作成ボタン



2. 新規フォルダー名称を入力します。

フォルダー名称を入力後、[設定] ボタンを押すとフォルダーが作成されます。

図 新規フォルダー作成画面



＼注意＼

- 新規作成したフォルダー名称には、既に存在するフォルダー名称を使用することはできません。
- アップロード元とアップロード先で、同じドライブを選択することはできません。
- アップロード先（サーバーの教材保存フォルダー）には、手動でファイルをコピーしたり、編集したりしないでください。手動で操作された場合、教材が自動的に削除されたり、全ての教材が使用できなくなることがあります。

教材をダウンロードする

サーバー教材を教材作成パソコンや外部メディアにダウンロードしたり、教材作成パソコンにある教材を外部メディアにコピーすることができます。

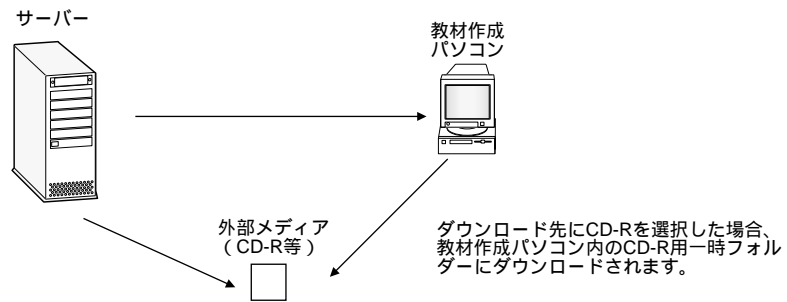
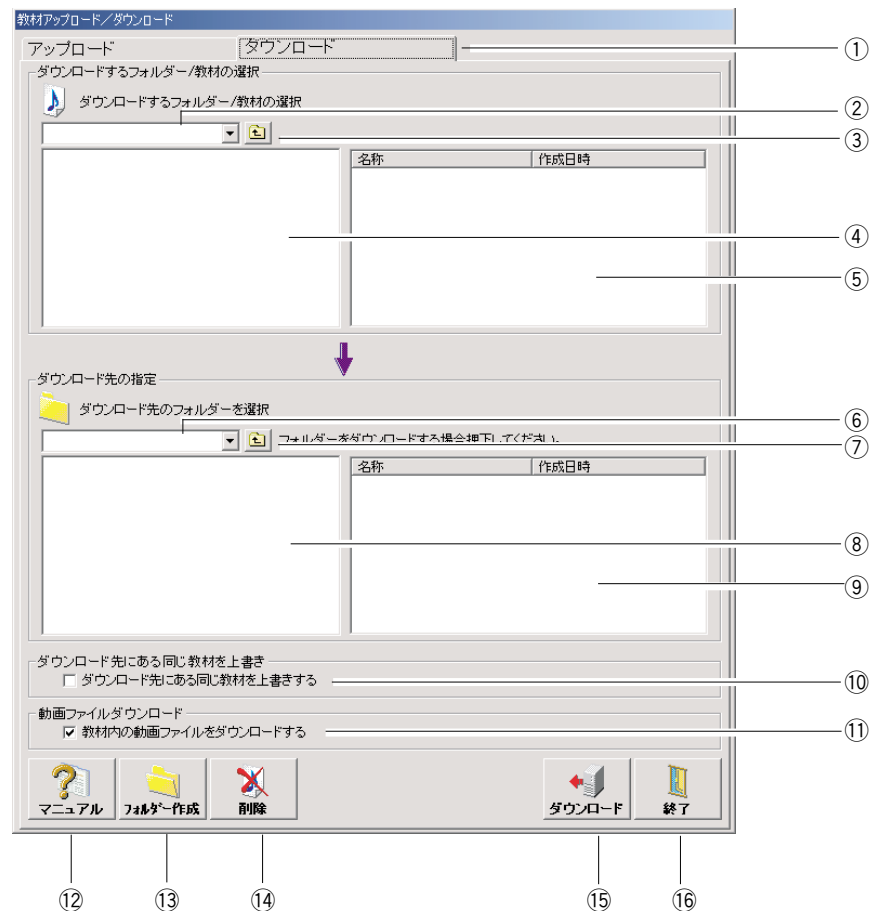


図 ダウンロード画面



- ① アップロード/ダウンロード切替タブ：アップロード/ダウンロードの画面を切り換えます。
- ② ダウンロード元ドライブ選択：教材の保存されているドライブを選択します。

- ③ [上へ] ボタン：教材選択領域にフォルダーを表示します。
- ④ 教材表示領域：選択したドライブに含まれる教材が表示されます。
- ⑤ 教材選択領域：ダウンロードする教材を選択します。
- ⑥ ダウンロード先ドライブ選択：ダウンロードするドライブを選択します。
- ⑦ [上へ] ボタン：教材選択領域にフォルダーを表示します。
- ⑧ 教材表示領域：選択したドライブに含まれる教材が表示されます。
- ⑨ ダウンロード先選択領域：ダウンロード先のフォルダーを選択します。教材を削除するときも、この領域から選択します。
- ⑩ 上書き確認：同一教材があった際に、上書きする場合はチェックします。
- ⑪ 教材内動画ダウンロード確認：教材に含まれる動画ファイルをダウンロードする場合はチェックします。
- ⑫ [マニュアル] ボタン：マニュアルを表示します。
- ⑬ [フォルダー作成] ボタン：新規にフォルダーを作成します。
- ⑭ [削除] ボタン：選択した教材を削除します。
- ⑮ [ダウンロード] ボタン：選択した教材をダウンロードします。
- ⑯ [終了] ボタン：ダウンロードを終了します。

1. メニュー選択画面で、[アップロード/ダウンロード] ボタンを押します。

アップロード/ダウンロード画面が表示されます。

図 メニュー選択画面

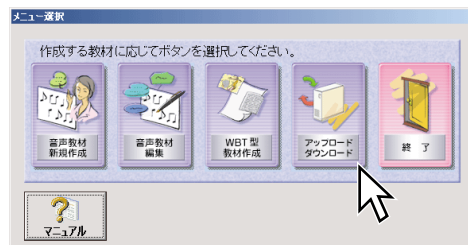
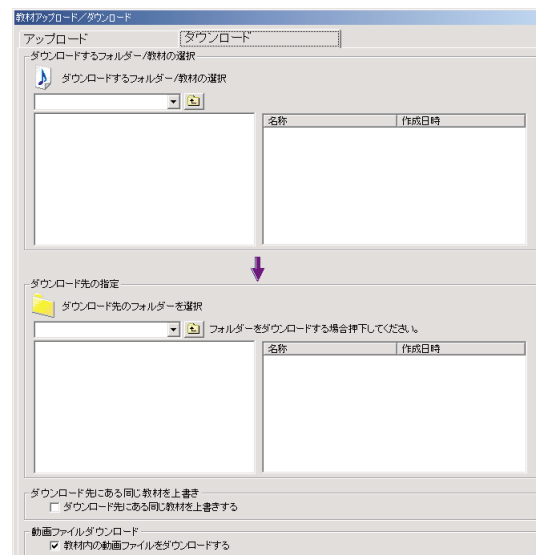
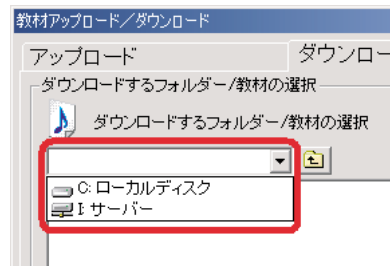


図 アップロード/ダウンロード画面



参照先のドライブを変更する場合は、ドライブ選択メニューから、ドライブを選択してください。

図 ドライブ選択メニュー



2. 「ダウンロードするフォルダー/教材を選択」の下に表示されているウィンドウの中から、ダウンロードする教材を選択します。

アップロード/ダウンロード画面が表示されます。

教材を選択してダウンロードする場合

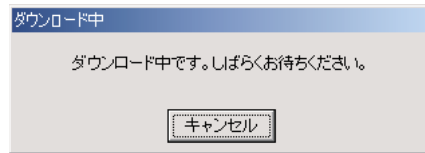
- (a) ダウンロード元の教材表示領域に表示されている教材（WBT型教材）を選択します（画面右側の教材選択領域では、複数選択が可能です）。
- (b) ダウンロード先の教材表示領域でフォルダーを選択します。
- (c) ダウンロード先に同じ教材が保存されている場合に、上書きするか、しないかを選択します。上書きする場合は、“ダウンロード先にある同じ教材を上書きする”をクリックしてチェックを入れます。
- (d) 動画ファイルの含まれる教材をダウンロードする場合、教材に含まれる動画ファイルをダウンロードするか、しないかを指定します。動画ファイルをダウンロードする場合は、“教材内の動画ファイルをダウンロードする”をクリックしてチェックを入れます。

フォルダーを選択してダウンロードする場合

- (a) ダウンロード元の教材表示領域でフォルダーを選択します（画面右側の教材選択領域では、複数選択が可能です）。
フォルダーを選択してダウンロードする場合、ダウンロード先の教材やフォルダーを選択する必要はありません。
- (b) ダウンロード先に同じ教材が保存されている場合に、上書きするか、しないかを選択します。上書きする場合は、“ダウンロード先にある同じ教材を上書きする”をクリックしてチェックを入れます。
- (c) 動画ファイルの含まれる教材をダウンロードする場合、教材に含まれる動画ファイルをダウンロードするか、しないかを指定します。動画ファイルをダウンロードする場合は、“教材内の動画ファイルをダウンロードする”をクリックしてチェックを入れます。

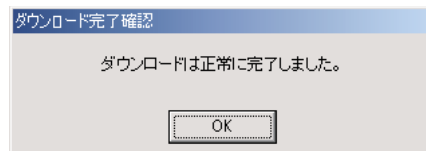
3. [ダウンロード] ボタンを押すと、ダウンロードが開始されます。

図 ダウンロード中画面



4. ダウンロードが完了すると、完了パネルが表示され、[OK] ボタンを押すと、アップロード/ダウンロード画面に戻ります。

図 ダウンロード完了パネル

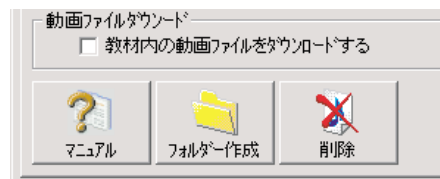


ダウンロード先にフォルダーを作成する

ダウンロード先に適当なフォルダーが無い場合などには、フォルダーを新規に作成し、そこにダウンロードすることもできます。

1. [フォルダー作成] ボタンを押します。

図 フォルダー作成ボタン



2. 新規フォルダー名称を入力します。

フォルダー名称を入力後、[設定] ボタンを押すとフォルダーが作成されます。

図 新規フォルダー作成画面



注意

- ダウンロード先には、MO、DVD、USBメモリ、CD-R等の外部メディアも選択できます。ただし、CD-Rを選択した場合、ダウンロード先のパソコンの一時保存領域にダウンロードされますので、L3 Stageシステムを終了後、CD-R付属の書き込みソフトを使用して、メディアへの書き込みを行ってください(☞136ページ)
- ダウンロード先(教材作成パソコンの教材保存フォルダー)には、手動でファイルをコピーしたり、編集したりしないでください。手動で操作された場合、教材が自動的に削除されたり、全ての教材が使用できなくなることがあります。

教材を削除する

サーバー教材や、教材作成パソコンに作成された教材を削除することができます。

1. メニュー選択画面で、[アップロード/ダウンロード] ボタンを押します。

アップロード/ダウンロード画面が表示されます。

図 メニュー選択画面

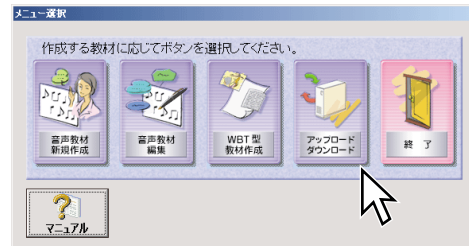
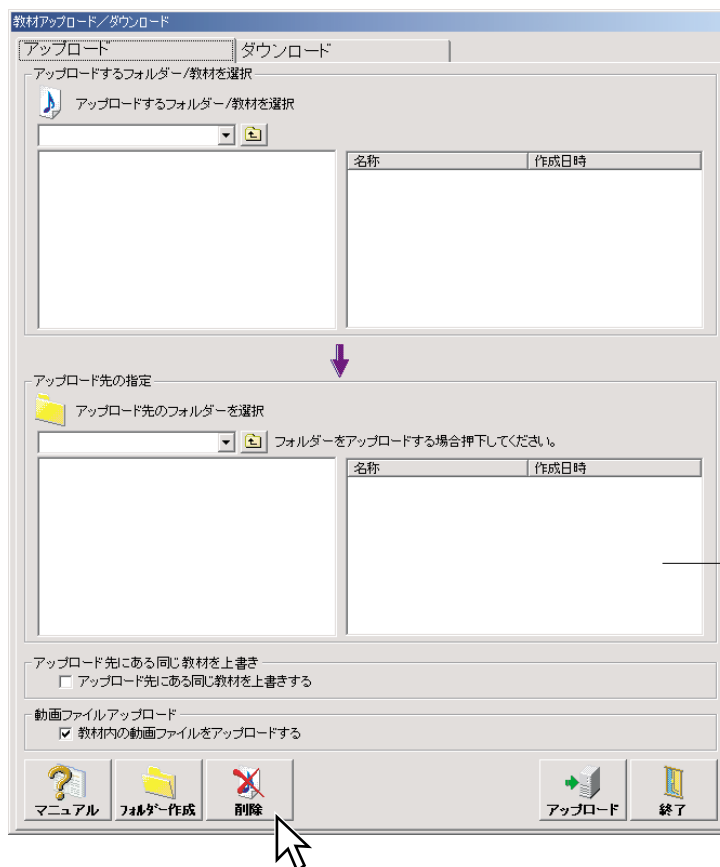


図 アップロード/ダウンロード画面

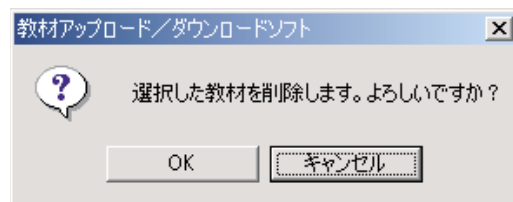


削除教材選択

2. 「アップロード先のフォルダーを選択」(または「ダウンロード先のフォルダーを選択」)の下に表示されているウィンドウの中から、削除する教材を選択します。教材表示領域(画面左側)のウィンドウに表示されているフォルダーをダブルクリックすると、教材表示領域(画面右側)のウィンドウ内に、そのフォルダーに含まれる教材が表示されます。
教材表示領域では、複数の教材やフォルダーが選択できます。
複数選択の方法は、Ctrlキーを押しながら、マウスでクリックし選択する方法と、連続した教材を選択する場合はShiftキーを押しながら、教材の先頭と末尾を選択することでその範囲内の教材を選択することができます。
3. 教材を選択後、[教材削除]ボタンを押します。

教材削除確認パネルが表示されます。

図 「教材削除」確認パネル



4. 教材削除確認パネルの [OK] ボタンを押すと選択中の教材が削除されます。

＼注意＼

- 教材削除後、教材を復帰させることはできません。大切な教材は定期的にバックアップすることをおすすめします。
- 削除する教材の選択は、画面下側のリストから行ってください。

＼フォルダー単位でのアップロード/ダウンロードについて＼

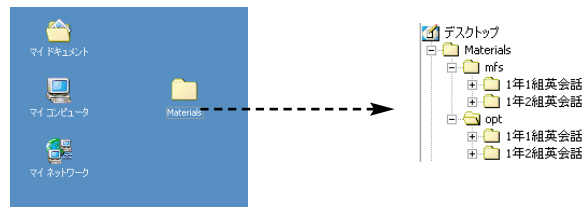
フォルダー単位でのアップロード/ダウンロードを行う際に、アップロード/ダウンロード先にアップロード/ダウンロード元と同名のフォルダーがあった場合、同名のフォルダー内に教材がコピーされます。

ダウンロードした教材をCD-Rに保存する

ダウンロード先にCD-Rを選択した場合、直接CD-Rへの書き込みは行われません。L3 Stageシステムを終了後、専用のCD-R書き込みソフトを使用してCD-Rへ書き込みを行います。

1. ダウンロード先にCD-Rを選択した場合、教材はデスクトップのMaterialsフォルダー内に保存されます。

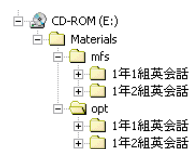
図 ダウンロード後のフォルダー構成例



2. ダウンロードした教材をCD-Rに保存します。

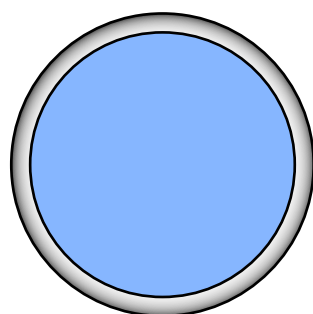
その際、必ずCD-Rドライブの直下にMaterialsフォルダーが保存されるようにしてください。

図 CD-R書き込み後のフォルダー階層図 (CD-RがEドライブの場合)



注意

- すでにMaterialsフォルダーが存在し、教材がダウンロードされている場合は、既にあるフォルダー内にダウンロードされます。その場合、新規にダウンロードされた教材だけをCD-Rに保存することはできません。
必ずMaterialsフォルダーごと全てのファイルを保存してください。
- CD-Rに保存する際に、フォルダー名を編集したり、Materialsフォルダー内のファイルを編集すると、教材として使用できなくなりますので、絶対に編集しないでください。
- CD-Rに保存する場合、古い教材は消去してから書き込みを行うことをおすすめします。すでに教材が書き込まれているメディアに追記する場合は、必ず全てを上書きしてください。全てを上書きしないと、正しく教材を参照できなくなることがあります。
- CD-Rの書き込みを行う場合は、空き容量が十分なメディアを使用してください。書き込みに失敗すると、教材の参照ができなくなります。



付録

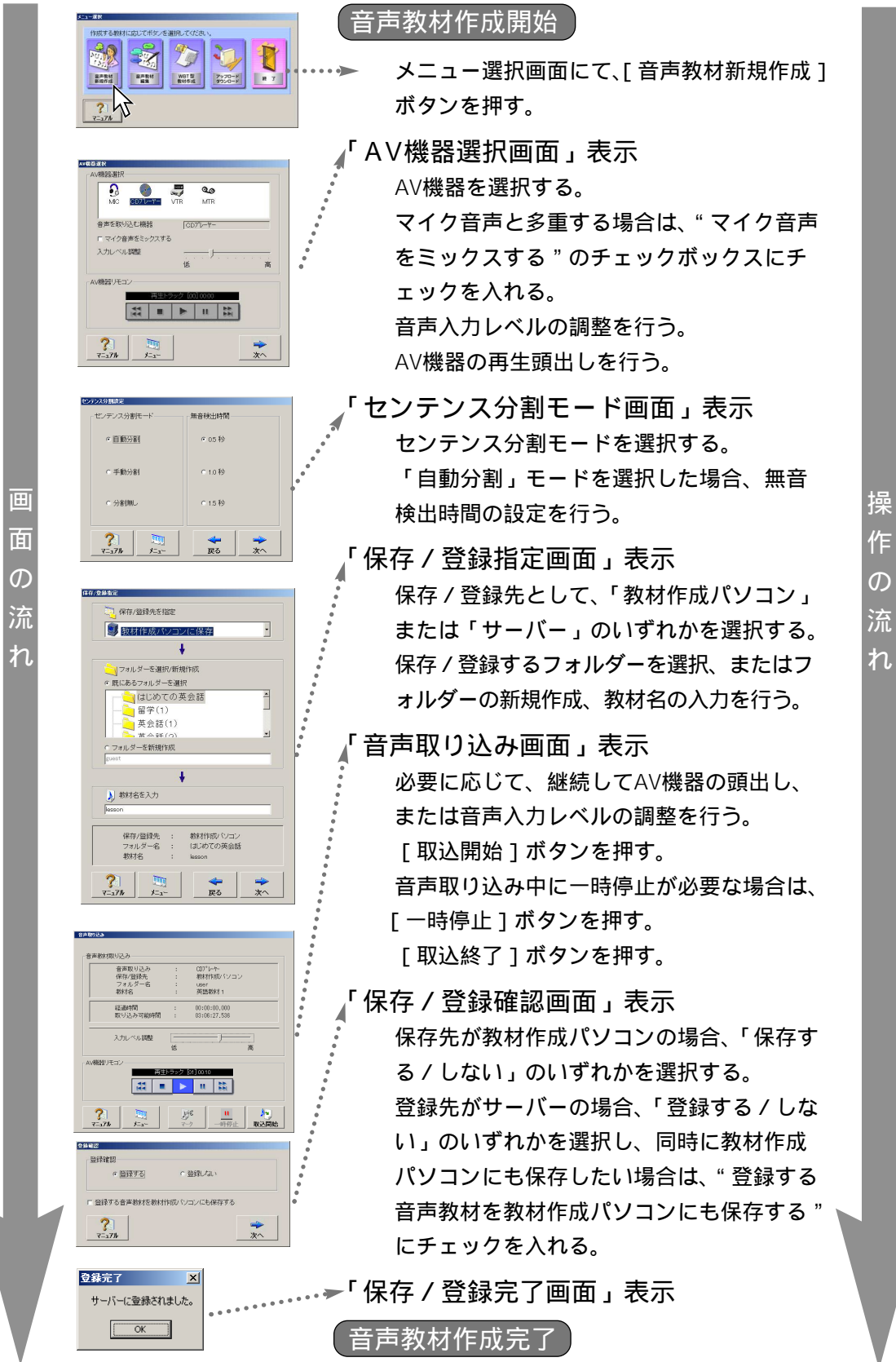
ここでは、教材の作成例やトラブルシューティング、エラーメッセージ、用語説明などについて説明します。

もくじ

音声教材作成例	138
コメント付き音声教材作成例	139
アナライザー教材作成例	140
WBT型教材新規作成例	141
ハイパーリンクを利用した WBT型教材作成例	142
問題設定を利用したWBT型教材作成例 ..	143
評価機能を利用したWBT型教材作成例 ..	144
トラブルシューティング	145
エラーメッセージ一覧	147
用語説明	152

音声教材作成例

音声教材の作成手順と画面の流れを示します。

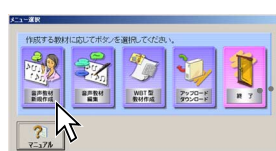


コメント付き音声教材作成例

コメント付き音声教材の作成手順と画面の流れを示します。

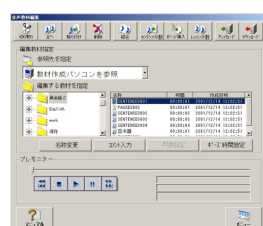
画面の流れ

操作の流れ



音声教材（コメント付き）作成開始

メニュー選択画面にて、[音声教材編集] ボタンを押す。



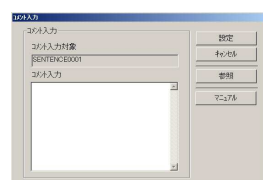
「音声教材編集画面」表示

参照先として「教材作成パソコン」または「サーバー」のいずれかを指定する。

参照する音声教材が登録されているフォルダーを指定する。

音声教材を選択する。

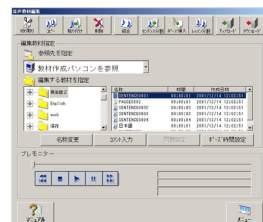
コメントを付加したいセンテンスを選択して、[コメント入力] ボタンを押す。



「コメント入力画面」表示

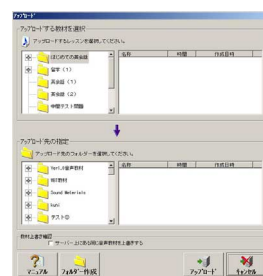
登録したいコメントを直接入力するか、[ファイル参照先] ボタンを押してテキストファイルを選択する。

コメントを設定したら、[設定] ボタンを押す。



「音声教材編集画面」表示

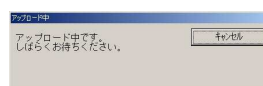
コメント付き音声教材を登録する場合は、ツールバー上の [アップロード] ボタンを押す。



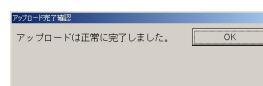
「アップロード指定画面」表示

アップロードする音声教材と、アップロード先を選択して、[アップロード] ボタンを押す。

アップロード先に存在する音声教材を上書きする場合は、“サーバー上にある同じ教材を上書きする” にチェックを入れる。



「アップロード中画面」表示



「アップロード完了画面」表示

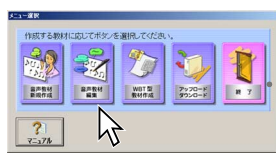
音声教材（コメント付き）作成 & 登録完了

アナライザー教材作成例

アナライザー教材の作成手順と画面の流れを示します。

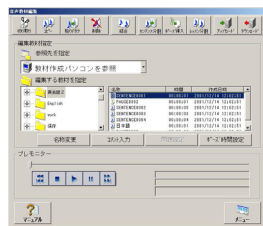
画面の流れ

操作の流れ



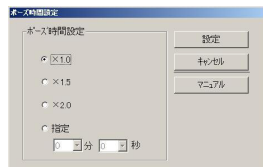
アナライザー教材作成開始

メニュー選択画面にて、[音声教材編集] ボタンを押す。



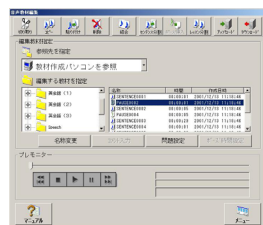
「音声教材編集画面」表示

参照先に「教材作成パソコン」を指定する。
参照する音声教材が登録されているフォルダーを指定する。
音声教材を選択する。
[ポーズ時間設定] ボタンを押す。



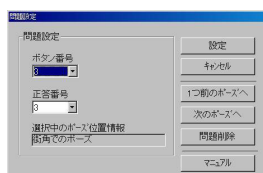
「ポーズ時間設定画面」表示

時間を選択し、[設定] ボタンを押す。



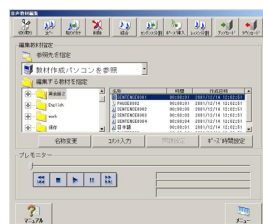
「音声教材編集画面」表示

問題設定を行いたいポーズを選択し、[問題設定] ボタンを押す。



「問題設定画面」表示

選択肢数、回答番号を選択する。
[次のポーズへ] [前のポーズへ] ボタンを押し、問題設定を確認することができます。
問題設定が終了したら [設定] ボタンを押す。



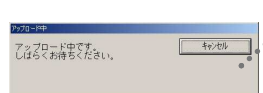
「音声教材編集画面」表示

音声教材を登録する場合、ツールバー上のアップロードボタンを押す。

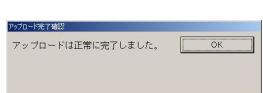


「アップロード画面」表示

アップロードしたい音声教材、アップロード先を選択して [アップロード] ボタンを押す。
アップロード先に存在する音声教材を上書きしたい場合は、「上書きする」にチェックする。



「アップロード中画面」表示

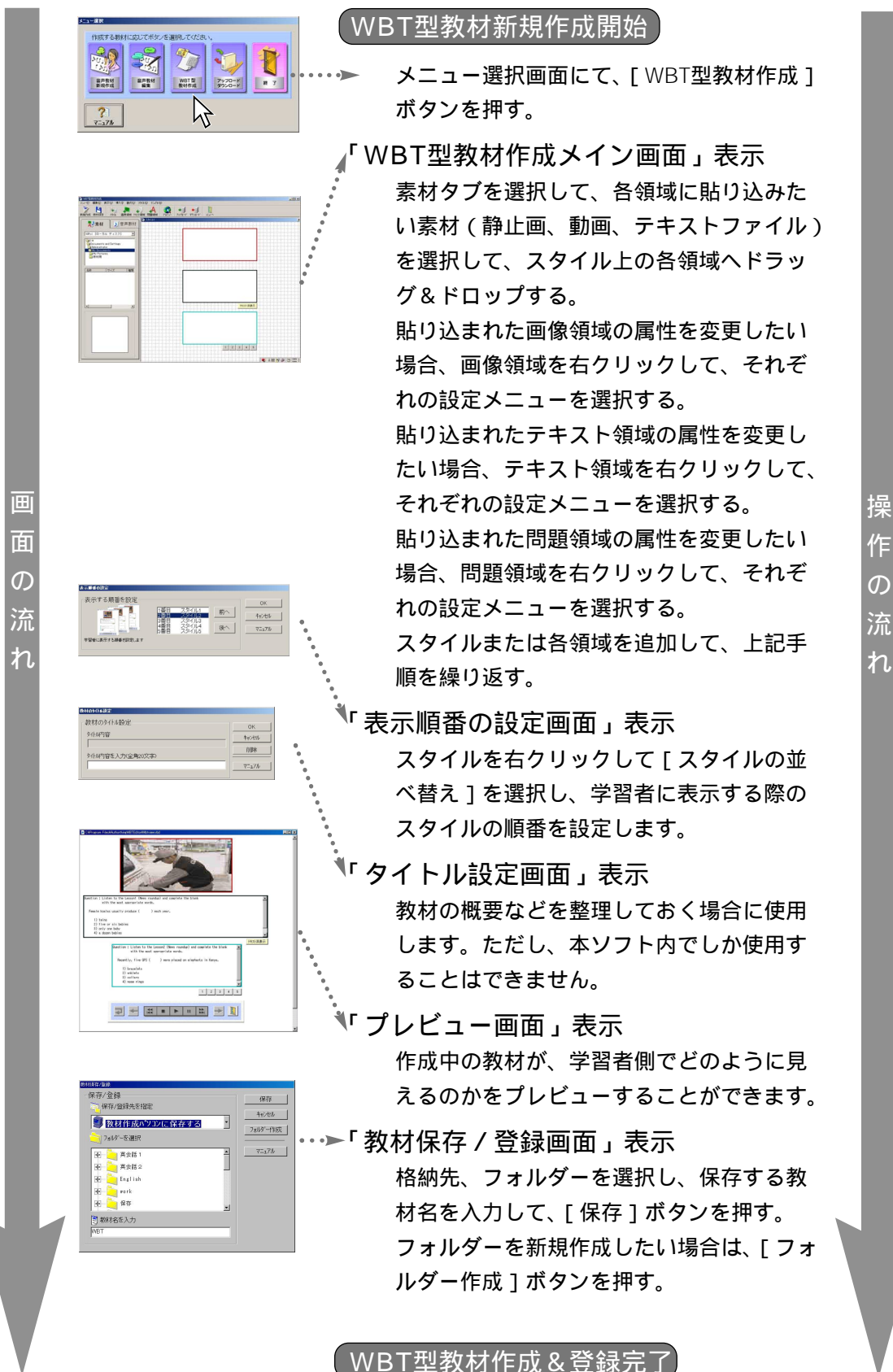


「アップロード完了画面」表示

アナライザー教材作成 & 登録完了

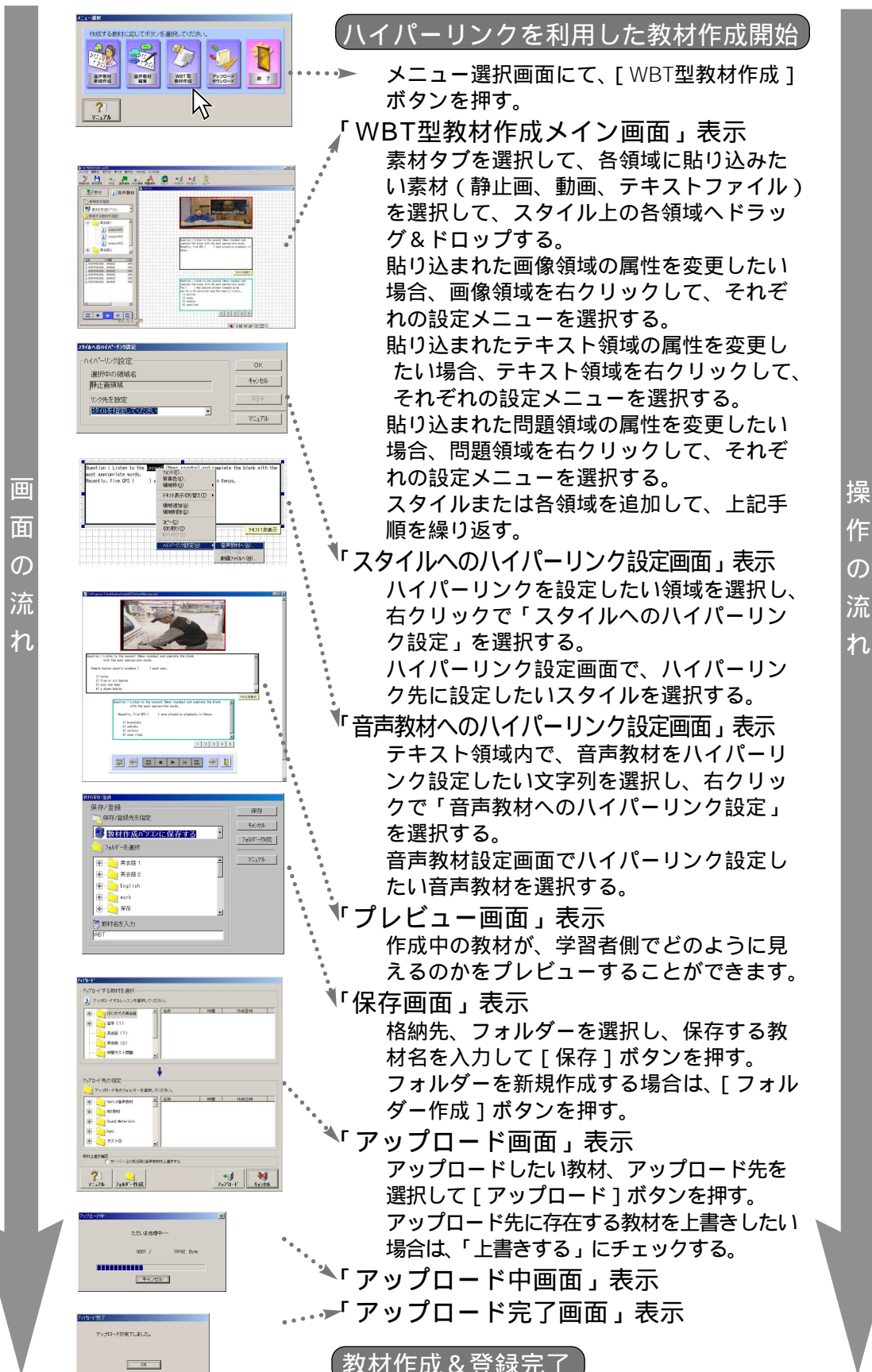
WBT型教材新規作成例

WBT型教材の作成手順と画面の流れを示します。



ハイパーリンクを利用したWBT型教材作成例

ハイパーリンクを利用したWBT型教材の作成手順と画面の流れを示します。

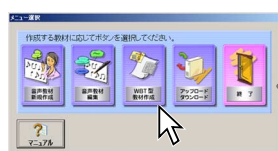


問題設定を利用したWBT型教材作成例

問題設定を利用したWBT型教材の作成手順と画面の流れを示します。

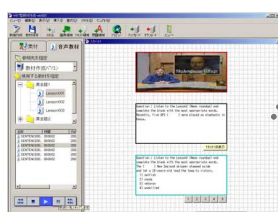
画面の流れ

操作の流れ



問題設定を利用した教材作成開始

メニュー選択画面にて、[WBT型教材作成] ボタンを押す。



「WBT型教材作成メイン画面」表示

素材タブを選択して、各領域に貼り込みたい素材（静止画、動画、テキストファイル）を選択して、スタイル上の各領域ヘドラッグ&ドロップする。

貼り込まれた画像領域の属性を変更したい場合、画像領域を右クリックして、それぞれの設定メニューを選択する。

貼り込まれたテキスト領域の属性を変更したい場合、テキスト領域を右クリックして、それぞれの設定メニューを選択する。

貼り込まれた問題領域の属性を変更したい場合、問題領域を右クリックして、それぞれの設定メニューを選択する。

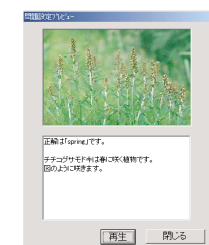
スタイルまたは各領域を追加して、上記手順を繰り返す。



「問題設定画面」表示

問題領域で右クリックして表示されるメニューから「問題設定」を選択する。

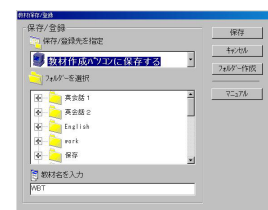
問題設定画面で、選択枝数、回答番号、正解 / 不正解時にメッセージを表示する場合は、各種参照先を設定する。



「制限時間設定画面」表示

問題領域内で右クリックして表示されるメニューから「教材内での問題制限時間設定」を選択する。

教材内の全ての問題に対する制限時間を設定する。



「プレビュー画面」表示

作成中の教材が、学習者側でどのように見えるのかをプレビューすることができます。



「保存画面」表示

格納先、フォルダーを選択し、保存する教材名を入力して [保存] ボタンを押す。

フォルダーを新規作成する場合は、[フォルダー作成] ボタンを押す。



「アップロード画面」表示

アップロードしたい教材、アップロード先を選択して [アップロード] ボタンを押す。

アップロード先に存在する教材を上書きしたい場合は、「上書きする」にチェックする。

「アップロード中画面」表示

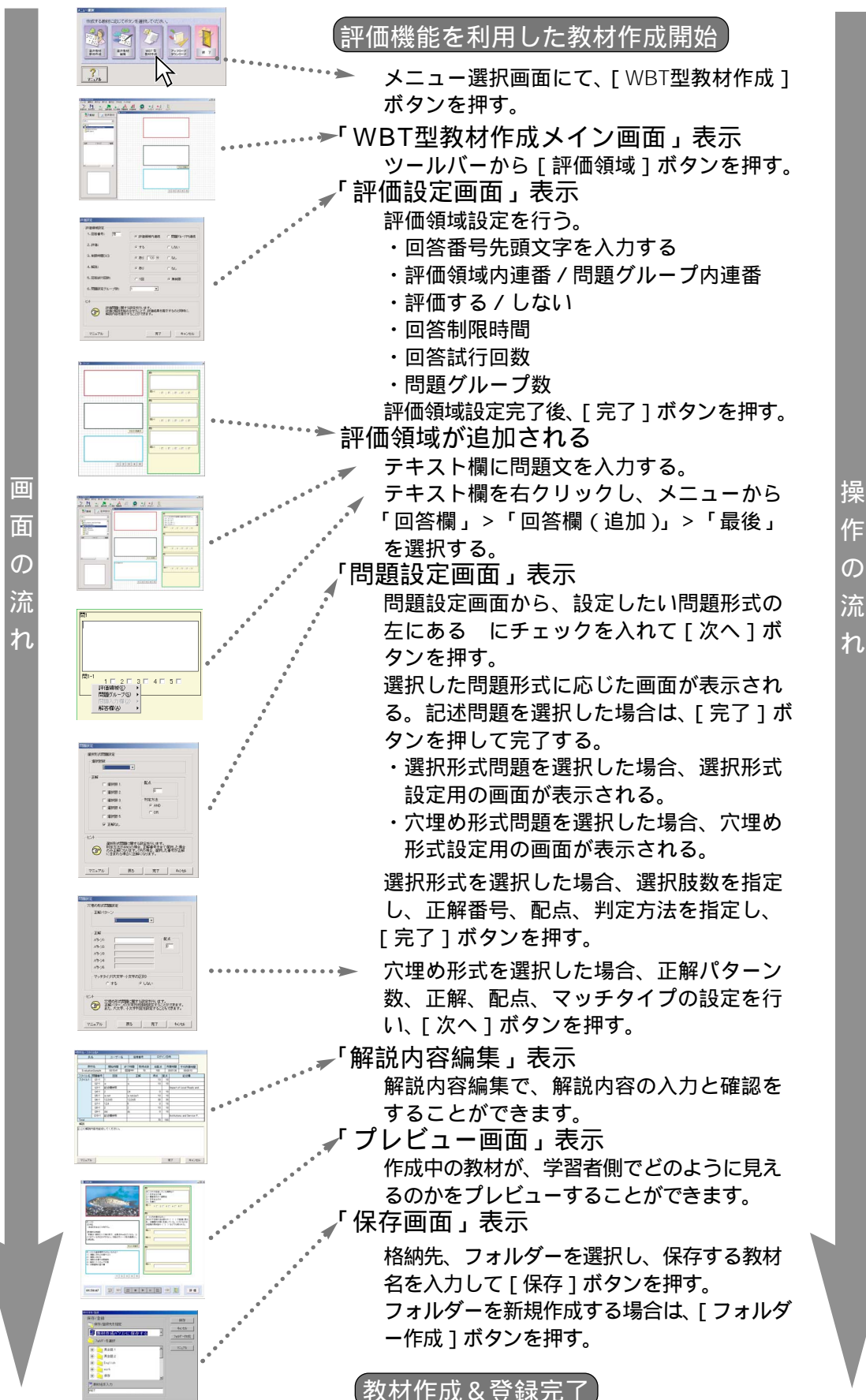
「アップロード完了画面」表示



教材作成 & 登録完了

評価機能を利用したWBT型教材作成例

評価機能を利用したWBT型教材の作成手順と画面の流れを示します。



トラブルシューティング

ここでは、システム運用中に起こったトラブルの対処方法について説明します。トラブルが起こった場合、「確認していただく内容」欄に記載されている手順に従って対処し、再度操作して確認してみてください。

各機器が接続されているか、各カードが装着されているかなどを確認しなければならないときは、必ず別冊の「システムソフト取扱説明書」、「オーサリングソフト取扱説明書」をお読みください。

また、対処してもトラブルが解消しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	確認していただく内容
音声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> • ヘッドセットのプラグが確実に差し込まれているか確認してください。 • ヘッドセットの音量調節つまみで音量を調節してください。
AV機器の音声がヘッドセットから聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> • 送付設定画面で音声レベルを確認してください。[ミュート] ボタンが押されている場合は、再度押して解除してください。別冊の「システムソフト取扱説明書」をお読みください。 • 該当するAV機器の電源が入っているか確認してください。 解消しない場合は、接続チェックが必要です。別冊の「システムソフト取扱説明書」をお読みください。
サーバー教材の音声がヘッドセットから聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> • オーディオサーバーが正常に起動しているか確認してください。 起動していない場合は、制御パソコン、管理パソコン、先生パソコン、学習者パソコンを終了し、電源を一度切ってから、オーディオサーバーを起動してください。 解消しない場合は、接続チェックが必要です。別冊の「システムソフト取扱説明書」をお読みください。
ルームスピーカーから音声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> • アンプの電源が入っているか確認してください。 • アンプの音量を確認してください。 • ティーチャーユニットのスピーカーのスイッチがONになっているか確認してください。 • ティーチャーユニットのスピーカー音量つまみで音量を調節してください。 解消しない場合は、接続チェックが必要です。別冊の「システムソフト取扱説明書」をお読みください。

症状	確認していただく内容
音声教材の再生音が聞こえない	教材作成パソコン内に教材が登録されているか確認してください。
音声教材再生中に音切れする、ノイズが聞こえる	ヘッドセットのプラグを確実に差し込んでください。 解消しない場合は、接続チェックが必要です。別冊の「システムソフト取扱説明書」をお読みください。
音声ハウリングする	送出設定画面で教材音声レベルを確認してください。別冊の「システムソフト取扱説明書」をお読みください。
パソコンの画面に映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイの電源が入っているか確認してください。 • ケーブルが確実に接続されているか確認してください。
オーサリングソフトが起動しない	表示されるメッセージに従ってください。
オーディオサーバー/ファイル配信サーバーへ接続できない	別冊の「オーサリングソフト 取扱説明書 トラブルシューティング」をお読みください。
音声教材を作成できない	表示されるメッセージに従ってください。
AV機器選択画面にAV機器が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • PanaBOXの電源が入っているか確認してください。 • PanaBOXの接続を確認してください。 • システムユーティリティの設定を確認してください。別冊の「システムソフト取扱説明書」をお読みください。
AV機器をリモコン操作できない	PanaBOXまたはAV機器が正しく接続されていない可能性があります。接続を確認してください。 別冊の「システムソフト取扱説明書」をお読みください。
保存/登録先指定画面でサーバーが表示されない	サーバーへの接続表示に失敗しています。 別冊の「システムソフト取扱説明書」またはライブラリー管理ソフト取扱説明書をお読みください。
音声取り込み画面で[マーク]ボタンが押せない	センテンス分割モードが「手動分割」の場合にのみ有効です。
録音時に周囲の音声まで録音してしまう	AV機器選択画面で、マイク音声と多重する設定になっていないか確認してください。
音声教材を編集できない	音声教材の参照先が「サーバー」の場合、サーバーに登録されている音声教材を直接編集することはできません。
誤ってレッスン分割、センテンス分割してしまった(レッスン/センテンス分割画面)	同画面内にある[全解除]ボタンを押してください。 [キャンセル]ボタンを押すと、編集内容は反映されません。
誤ってレッスン分割、センテンス分割してしまった(音声教材編集画面表示時)	分割してしまったレッスン/センテンス同士を選択し、[結合]ボタンで結合します。

エラーメッセージ一覧

ここでは、オーサリングソフト運用中に表示されるエラーメッセージの対処方法について説明します。エラーメッセージが表示された場合、「説明・対処方法など」欄に記載されている手順に従って対処し、操作して確認してみてください。

対処してもエラーが解消しないときは、システムの電源を切ってから、お買い上げの販売店にご相談ください。

セットアップに関するメッセージ

メッセージ内容	説明・対処方法など
オーサリングソフトのセットアップに失敗しました。お買い上げの販売店へお問い合わせください。	再度オーサリングソフトをセットアップして、状況が変化しない場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
空きディスク領域が足りません。空き領域を増やしてからセットアップを行ってください。	メッセージの通りに行ってください。
オーサリングソフトのアンインストールに失敗しました。お買い上げの販売店へお問い合わせください。	何らかの原因でアンインストールに失敗しました。再度行っても状況が変わらない場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

起動に関するメッセージ

メッセージ内容	説明・対処方法など
オーサリングソフトの起動に失敗しました。お買い上げの販売店へお問い合わせください。	メッセージの通りに行ってください。
すでにオーサリングソフトは起動されています。	すでにオーサリングソフトが起動しています。起動していない場合は、Windowsを一度終了し、再起動してからオーサリングソフトを起動してください。
プロセッサユニットの接続に失敗しました。オーサリングソフトを一度終了し、接続を確認してから再起動してください。	別冊の「取扱説明書」のトラブルシューティング「起動に関するトラブル」を参照してください。
ティーチャーユニットの接続に失敗しました。オーサリングソフトを一度終了し、接続を確認してから再起動してください。	別冊の「取扱説明書」のトラブルシューティング「起動に関するトラブル」を参照してください。
サーバーへの接続に失敗しました。サーバーへのアクセスを伴う機能に関しては、制限がかかります。	別冊の「取扱説明書」のトラブルシューティング「起動に関するトラブル」を参照してください。
ログインに失敗しました。再度正しくユーザー名、パスワードを入力してください。	ユーザー名、パスワードが登録されていません。再度ご確認のうえ、入力してください。

メッセージ内容	説明・対処方法など
ユーザー名/パスワードは登録されてい ません。オーサリングソフトを終了しま す。	ユーザー名/パスワードが登録されていま せん。再度ご確認のうえ、入力してくだ さい。

音声教材新規作成に関するメッセージ

メッセージ内容	説明・対処方法など
入力されたフォルダー名はすでに存在し ます。別の名前を入力してください。	他のユーザーがすでに同じフォルダー名を 使用している可能性があります。他のフォ ルダー名を入力してください。
教材名を指定してください。	教材名を入力してください。
教材作成パソコンのハードディスク空き 容量が不足しています。音声取り込みを 中止します。	メッセージの通りです。
サーバーの空きディスク領域が不足して いるため、教材作成パソコンに保存しま す。	メッセージの通りです。
サーバーとの接続に障害が発生しました。 一度、教材作成パソコン内に教材を保存 します。お買い上げの販売店にお問い合 わせください。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ネットワークケーブルが接続されているか？ • サーバーが起動しているか？ • ネットワークドライブが切断されていないか？ • 共有が解除されていないか？
CDプレーヤーに音楽CDが入っておりま せん。確認してください。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 音楽CDが入っているか？ • 他のメディアが入っていないか？ • CD-Rなどを認識できない可能性はないか？ • CDドライブに異常が発生していないか？
PanaBOXとの接続に障害が発生しました。 お買い上げの販売店にお問い合わせくだ さい。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • PanaBOXが接続されていない。 • Processor Config.ini内の設定情報に矛盾 が発生している。
教材作成パソコンへの保存に失敗しまし た。お買い上げの販売店にお問い合わせ ください。	教材作成パソコン内の空きディスク領域が 不足している可能性があります。確認して ください。

音声教材編集に関するメッセージ

メッセージ内容	説明・対処方法など
対象となるレッスンまたはセンテンスまたはポーズを選択してください。	メッセージの通り行ってください。
対象となるフォルダー、レッスン、センテンス、ポーズのいずれかひとつを選択してください。	メッセージの通り行ってください。
コピーする音声教材（レッスン/センテンス/ポーズ）を選択してください。	メッセージの通り行ってください。
貼り付けを行う音声教材（レッスン/センテンス/ポーズ）選択してください。	メッセージの通り行ってください。
コピー/切り取りを行ったレッスン/センテンス/ポーズを読み取れません。	メッセージの通りです。
フォルダー内に格納可能なレッスン数を超過してしまいましたので、他のフォルダーへ保存してください。	メッセージの通り行ってください。
削除する音声教材（レッスン/センテンス/ポーズ）を選択してください。	メッセージの通り行ってください。
選択したフォルダーの中には音声教材/WBT型教材があるので、削除できません。	メッセージの通りです。
結合する音声教材（レッスン/センテンス/ポーズ）を選択してください。	メッセージの通り行ってください。
センテンス分割する音声教材を選択してください。	メッセージの通り行ってください。
レッスン分割する音声教材を選択してください。	メッセージの通り行ってください。
レッスン分割を行うと、レッスン名が規定の文字数を超過してしまいます。18文字以下でレッスン名を変更してください。	メッセージの通り行ってください。
2つのレッスンを選択してください。	メッセージの通り行ってください。
2つのセンテンスを選択してください。	メッセージの通り行ってください。
波形表示区間の設定はできません。もう一度設定してください。	設定区間が9秒以下に設定されているか、音声教材より長い時間が設定されている可能性があります。
音声教材作成パソコンからアップロードするレッスンを選択してください。	メッセージの通り行ってください。
アップロード先をサーバー内のフォルダーから選択してください。	メッセージの通り行ってください。

メッセージ内容	説明・対処方法など
サーバーからダウンロードするレッスンを 選択してください。	メッセージの通り行ってください。
アップロード先を教材作成パソコン内の フォルダーから選択してください。	メッセージの通り行ってください。
音声教材の内容は変更されています。変 更を保存しますか？	メッセージの通り行ってください。
サーバーとの接続に障害が発生したため アップロードがキャンセルされました。 教材作成パソコンに保存します。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ネットワークケーブルが接続されているか？ • サーバーが起動しているか？ • ネットワークドライブが切断されていないか？ • 共有が解除されていないか？
サーバーとの接続に障害が発生したため ダウンロードがキャンセルされました。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ネットワークケーブルが接続されているか？ • サーバーが起動しているか？ • ネットワークドライブが切断されていないか？ • 共有が解除されていないか？
教材作成パソコンの空きディスク領域が足り ないため、ダウンロードすることができません。	メッセージの通りです。
サーバー内の空きディスク領域が足りない ため、アップロードすることができません。	メッセージの通りです。
指定したフォルダーへは、格納可能なレッ スンの最大数を超過してしまうためダウンロ ードできません。フォルダーを新規作成し てからダウンロードしてください。	メッセージの通り行ってください。
指定したフォルダーへは、格納可能なレッ スンの最大数を超過してしまうためアップロ ードできません。フォルダーを新規作成し てからアップロードしてください。	メッセージの通り行ってください。
参照可能なフォーマットと異なります。 再度選択してください。	メッセージの通り行ってください。
音声教材の内容は変更されています。 変更を保存しますか？	メッセージの通り行ってください。

WBT型教材編集に関するメッセージ

メッセージ内容	説明・対処方法など
既に設定されているハイパーリンク先を削除しますか？	メッセージの通り行ってください。
既にハイパーリンク先が設定されている文字列があります。確認してください。	メッセージの通り行ってください。
これ以上ハイパーリンクを設定できません。	設定可能なハイパーリンクの上限値を超えてしまいました。
表示可能な文字数の上限を超えています。	メッセージの通り行ってください。
フォルダー内に格納可能な教材数を超過してしまいました。他のフォルダーへ保存してください。	メッセージの通り行ってください。
編集中の教材は破棄されます。よろしいですか？	メッセージの通り行ってください。
これ以上スタイルは削除できません。	スタイルを全て削除することはできません。
サーバー教材の上書き保存はできません。教材を別名で保存してください。	サーバー上の教材を直接編集し、保存することはできません。
フォルダー名称を変更できません。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークケーブルが接続されているか？ ● サーバーが起動しているか？ ● 共有が解除されていないか？
選択ファイル内に表示できないファイルが含まれています。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークケーブルが接続されているか？ ● サーバーが起動しているか？ ● ファイルが削除されている。
選択した動画ファイルはサポートされていません。	選択した動画ファイルはサポートされていないか、異常なファイルである可能性があるため選択できません。

用語説明

本ソフトで使用している用語について説明します。

- ・教材作成パソコン/サーバー
教材の保存/登録先には、本ソフトを使用している端末の「教材作成パソコンへの保存」、ネットワーク経由で各種教材を配信する「サーバー」への登録の2種類があります。運用中に作成した教材を使用するためには、「サーバー」へ登録する必要があります。
- ・コメントそれぞれのセンテンスに対して、コメントを付けることができます。コメントが付けられたセンテンスを再生すると、学習者パソコンでコメントが表示されます。
- ・センテンスひとつのレッスンを複数に分割した単位です。
 音声の無音部分を自動的に検出しながら分割を行う「自動センテンス分割」、先生自らが分割をおこなう「手動センテンス分割」、分割を行わない「分割なし」があります。
- ・ドラッグ&ドロップ
素材などをマウスの左クリックで押したまま、画像領域内に移動させてマウスの左クリックを離すと、素材などを移動させることができます。
- ・ハイパーリンク ...WBT型教材内の画像領域、テキスト領域内の文字列に、スタイルや音声教材を結びつけることです。
- ・波形音声教材の音声レベルを示したものが波形になります。
- ・フォルダー音声教材を格納する場所です。作成した教材を授業で使用するためには、サーバー内の所定のフォルダー下に登録する必要があります。
- ・保存/登録本ソフトから編集目的で教材作成パソコンに格納する場合は「保存」、実際に運用時に使用する場合はサーバーに「登録」する必要があります。
- ・レッスン音声教材の最小単位で、音声教材新規作成で作成されるものはひとつの「レッスン」になります。

松下電器産業株式会社

首都圏本部

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目15番5号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd. All Rights Reserved.

3TR870APBAA
av0604-1055